

令和7年度 決算事業報告書



総務・学校教育課



款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	13	諸費	会計名	一般会計																																																																			
事業名		2-9	償還金(教育委員会)						所属名	総務・学校教育課																																																																			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	国庫及び県支出金等	総合計画における位置づけ																																																																										
			④心豊かな自律した子どもの育成																																																																										
			「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																										
			②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																																																										
	意図 (対象をどうするか)	適切に返還する	根拠法令・要綱等																																																																										
			名称	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律																																																																									
			URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/330AC0000000179																																																																									
			名称																																																																										
	成果の視点 (どのような効果があるか)	国及び県の補助金、負担金の返還が適切に行える。	名称																																																																										
			URL																																																																										
決算増減の理由			執行率の理由																																																																										
新規事業のため			非該当																																																																										
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		100.0 %																																																																						
	0 円	4,000 円	4,000 円	皆 増 %																																																																									
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																																																																									
	0 千円	4 千円	4 千円	皆 増 %																																																																									
【事業内容】 令和6年度交付決定を受けた下記補助金について、額の確定により返還金が生じるため返還を行う。 【決算の状況】<table><tr><td></td><td>(計画)</td><td>(実績)</td><td>単位:円</td></tr><tr><td>補助金等の名称</td><td>概算交付額</td><td>確定額</td><td>返還額</td></tr><tr><td>保育対策総合支援事業費補助金</td><td>3,426,000</td><td>3,422,000</td><td>4,000</td></tr></table> (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績に伴い適切に返還できた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 引き続き、返還額の確実な予算化を行う。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績に伴い適切に返還できた。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 返還額がないよう見込額の精査を行う。 (歳入内訳 単位:円)<table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>22 償還金、利子及び割引料</td><td>0</td><td>4,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>0</td><td>4,000</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>0</td><td>4,000</td><td>計</td><td>0</td><td>4,000</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円)											(計画)	(実績)	単位:円	補助金等の名称	概算交付額	確定額	返還額	保育対策総合支援事業費補助金	3,426,000	3,422,000	4,000	款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額					22 償還金、利子及び割引料	0	4,000																														一般財源	0	4,000					計	0	4,000	計	0	4,000
	(計画)	(実績)	単位:円																																																																										
補助金等の名称	概算交付額	確定額	返還額																																																																										
保育対策総合支援事業費補助金	3,426,000	3,422,000	4,000																																																																										
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																							
				22 償還金、利子及び割引料	0	4,000																																																																							
	一般財源	0	4,000																																																																										
	計	0	4,000	計	0	4,000																																																																							
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	一般財源の資金運用として概算払いを受けることは有益であることから、引き続き概算交付を受ける。年度実績として補助金、負担金等の返金が生じた場合の事務を適正に執行する。																																																																											
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																												
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	引き続き、補助金等の実績精算に伴う返還を適切に行う。																																																																											
	解決すべき課題への方策	事業費用の動向を注視しながら、積算額と精算額に大幅な解離が発生しないように概算額を見込む必要がある。																																																																											

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	1	教育委員会費	会計名	一般会計
事業名		1	教育委員会費						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	南部町教育委員会					総合計画における位置づけ			
							④心豊かな自律した子どもの育成			
							「4つの挑戦」から見た位置づけ			
							②教育に挑戦(子育て・教育のまち)			
	意図 (対象をどうするか)	一貫した方針の下、様々な意見や立場を集約した中立的な意思決定が行われている。					根拠法令・要綱等			
							名称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
							URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/331AC0000000162		
							名称	南部町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	広く地域住民の意向を反映した教育行政の実現					URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000140.html		
							名称	南部町教育行政点検評価委員会設置要綱		
URL							https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000685.html			
決算増減の理由							執行率の理由			
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	非該当		非該当			
	2,558,687 円	2,204,043 円	△ 354,644 円	△ 13.9 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	2,632 千円	2,825 千円	193 千円	7.3 %						
本年度執行率		78.0 %								
【事業内容】 ○ 教育委員報酬 ○ 教育委員会交際費 ○ 研修会・大会への参加、教育行政先進地等の視察研修 ○ 教育委員活動に必要な経費 ○ 各種協議会等負担金 他										
【決算の状況】										
(計画)		(実績)		単位:円						
細 節	予算額	決算額	内 容							
委員報酬	1,428,000	1,428,000	教育長職務代行者 1人 月額32,000円×12月 委員 3人 月額 29,000円×12月							
報償費	71,000	60,156	南部町教育行政点検評価委員会委員謝金2,700円×4人＝10,800円 巣箱コンクール入賞者記念品(図書カード)2,000円×2人＝4,000円 視察・歓迎用町産品代45,356円(5件)							
普通旅費	365,000	229,951	※行先は別途記載。							
研修旅費	670,000	268,417								
交際費	100,000	78,380	教育委員会交際費 香典35,000円(教職員親族等7件) 土産代38,380円(6件)							
消耗品費	48,000	27,900	全国町村教育長研究大会資料代4,500円 中国五県町村教育長会研究大会参加資料代等7,000円 機関紙「時報市町村教委」購読料370円×6回×5人分＝11,100円 教育委員会必携五訂版2,500円、教育委員会バッジ2,800円							
燃料費	20,000	8,711	研修ガソリン代							
使用料	8,000	1,660	研修駐車場代							
通行料	25,000	17,468	研修高速道路通行料							
(次頁へ続く)										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
						1 報酬	1,428,000	1,428,000		
						7 報償費	14,800	60,156		
						8 旅費	961,880	498,368		
						9 交際費	49,507	78,380		
						10 需用費	30,600	36,611		
						13 使用料及び賃借料	6,000	19,128		
						18 負担金補助及び交付金	67,900	83,400		
	一般財源			2,558,687	2,204,043					
計				2,558,687	2,204,043	計	2,558,687	2,204,043		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		研修等を通じて教育環境の変化や先進事例を理解し、中立的かつ的確な意思決定のもとで町の教育振興を推進する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		定例会等での多角的な議論による審議の活性化や現場への後押し体制をさらに発展させていく。							
	解決すべき課題への方策		現場や地域住民との交流機会である各種協議や学校行事等への参加について計画的に実施するとともに、研修や情報交換の場を確実に確保していく。							

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計																																																																	
事業名		1	教育委員会事務局費						所属名	総務・学校教育課																																																																	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①教育委員会事務局職員、教職員 ②中学校等に入学または進学する南部町に住所を有する保護者の方					総合計画における位置づけ																																																																				
							④心豊かな自律した子どもの育成																																																																				
							「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																				
							②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																																																				
	意図 (対象をどうするか)	①教育、文化、スポーツ等に関する事務が安定的に行われている。町立学校が円滑に運営されている。 ②家計負担が軽減され、就学が円滑に行われる。					根拠法令・要綱等																																																																				
							名称	教育基本法																																																																			
							URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html																																																																			
							名称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律																																																																			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	①教育課題解決に向けた取組のための研修・視察の実施。通学における交通安全対策の維持・向上。 ②中学校等入学祝い金を付与し、利用率100%の達成。					URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/331AC0000000162																																																																			
							名称																																																																				
URL																																																																											
決算増減の理由							執行率の理由																																																																				
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	非該当		非該当																																																																			
		4,058,343 円	4,439,033 円	380,690 円	9.4 %																																																																						
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																																																																						
		4,446 千円	4,927 千円	481 千円	10.8 %																																																																						
				本年度執行率		90.1 %																																																																					
【事業内容】 ○ 教職員研修の実施及び視察等による学校教育の質の向上を図る。 ○ 教育委員会事務局及び町立学校を円滑に運営するため、環境整備や経費支出を行う。 ○ 教育委員会が管理する公用車の適正な運行管理を行う。（「公用車管理事業」を統合） ○ 保護者負担が増える中学校入学時に入学祝い金として保護者にたすかードポイントを付与する。 【決算の状況】 <table><tr><th colspan="2">(計画)</th><th colspan="2">(実績)</th><th colspan="2">単位:円</th></tr><tr><th>細 節</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th colspan="3">内 容</th></tr><tr><td>報償費</td><td>24,000</td><td>20,700</td><td colspan="3">町主催教職員研修講師謝金9,000円×2時間＝18,000円 通学路交通安全確保に向けた連絡会謝礼2,700円(1人)</td></tr><tr><td>普通旅費</td><td>81,000</td><td>74,210</td><td colspan="3">町主催教職員研修講師旅費11,140円 南部町子ども読書推進計画策定に係る視察旅費43,520円 教職員人事に係る出張旅費19,550円</td></tr><tr><td>研修旅費</td><td>325,000</td><td>309,994</td><td colspan="3">リーディングDXスクール事業公開授業参加旅費28,047円 教育DX推進フォーラム参加旅費281,947円(4人)</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>310,000</td><td>282,174</td><td colspan="3">事務局の事務消耗品費、公用車整備部品費</td></tr><tr><td>燃料費</td><td>399,000</td><td>303,422</td><td colspan="3">公用車燃料費</td></tr><tr><td>備品修繕料</td><td>42,000</td><td>33,550</td><td colspan="3">公用車点検費用(2台)</td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>110,000</td><td>96,474</td><td colspan="3">教育委員会発送文書の郵送料</td></tr><tr><td>自動車保険料</td><td>117,000</td><td>116,730</td><td colspan="3">自動車損害共済継続委託分担金(4台:ハイエース2台、エブリィ、プリウス)</td></tr><tr><td>その他の委託料</td><td>194,300</td><td>134,920</td><td colspan="3">児童生徒送迎車両運行委託134,920円 〔 1,380円×34回＝46,920円 ふれあいバス休日運行委託88,000円(1回) 〕</td></tr></table> (次頁へ続く)										(計画)		(実績)		単位:円		細 節	予算額	決算額	内 容			報償費	24,000	20,700	町主催教職員研修講師謝金9,000円×2時間＝18,000円 通学路交通安全確保に向けた連絡会謝礼2,700円(1人)			普通旅費	81,000	74,210	町主催教職員研修講師旅費11,140円 南部町子ども読書推進計画策定に係る視察旅費43,520円 教職員人事に係る出張旅費19,550円			研修旅費	325,000	309,994	リーディングDXスクール事業公開授業参加旅費28,047円 教育DX推進フォーラム参加旅費281,947円(4人)			消耗品費	310,000	282,174	事務局の事務消耗品費、公用車整備部品費			燃料費	399,000	303,422	公用車燃料費			備品修繕料	42,000	33,550	公用車点検費用(2台)			通信運搬費	110,000	96,474	教育委員会発送文書の郵送料			自動車保険料	117,000	116,730	自動車損害共済継続委託分担金(4台:ハイエース2台、エブリィ、プリウス)			その他の委託料	194,300	134,920	児童生徒送迎車両運行委託134,920円 〔 1,380円×34回＝46,920円 ふれあいバス休日運行委託88,000円(1回) 〕		
(計画)		(実績)		単位:円																																																																							
細 節	予算額	決算額	内 容																																																																								
報償費	24,000	20,700	町主催教職員研修講師謝金9,000円×2時間＝18,000円 通学路交通安全確保に向けた連絡会謝礼2,700円(1人)																																																																								
普通旅費	81,000	74,210	町主催教職員研修講師旅費11,140円 南部町子ども読書推進計画策定に係る視察旅費43,520円 教職員人事に係る出張旅費19,550円																																																																								
研修旅費	325,000	309,994	リーディングDXスクール事業公開授業参加旅費28,047円 教育DX推進フォーラム参加旅費281,947円(4人)																																																																								
消耗品費	310,000	282,174	事務局の事務消耗品費、公用車整備部品費																																																																								
燃料費	399,000	303,422	公用車燃料費																																																																								
備品修繕料	42,000	33,550	公用車点検費用(2台)																																																																								
通信運搬費	110,000	96,474	教育委員会発送文書の郵送料																																																																								
自動車保険料	117,000	116,730	自動車損害共済継続委託分担金(4台:ハイエース2台、エブリィ、プリウス)																																																																								
その他の委託料	194,300	134,920	児童生徒送迎車両運行委託134,920円 〔 1,380円×34回＝46,920円 ふれあいバス休日運行委託88,000円(1回) 〕																																																																								
(歳入内訳 単位:円)																																																																											
(歳出内訳 単位:円)																																																																											
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																			
18-2-4-1	さくら基金繰入金			1,888,269	2,459,591	7 報償費	2,700	20,700																																																																			
						8 旅費	309,150	384,204																																																																			
						10 需用費	661,935	619,146																																																																			
						11 役務費	84,089	213,204																																																																			
						12 委託料	594,600	134,920																																																																			
						13 使用料及び賃借料	0	317,568																																																																			
						18 負担金補助及び交付金	2,317,869	2,749,291																																																																			
	一般財源			2,170,074	1,979,442	21 補償補填及び賠償金	88,000	0																																																																			
	計			4,058,343	4,439,033	計	4,058,343	4,439,033																																																																			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		今後も社会の変化を反映した施策を展開していくために、教職員研修や視察等の内容を精査するとともに、円滑な就学に向けた保護者支援も継続する。																																																																								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																										
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		年度ごとのPDCAサイクルに基づき、関係者で情報共有し、次年度の施策に反映していく。実効性確保のため、事務局職員や教職員の資質向上を図る。																																																																								
	解決すべき課題への方策		これからの児童生徒数の減少を見据えた研修視察等、課題に応じた取組を実施する。																																																																								

事業名	1	教育委員会事務局費	所属名	総務・学校教育課
(続き)				
(計画)		(実績)	単位:円	
細 節	予算額	決算額	内 容	
借上料	348,000	317,568	公用車エブリリース料211,200円 自家用車借上料106,368円 ・ スクールソーシャルワーカー2名 ・ 幼児教育・保育専門員2名 ・ 特別支援教育コーディネーター1名	
その他負担金	2,976,000	2,749,291	西部町村就学支援協議会負担金104,100円 学校医等公務災害補償事務に係る負担金110,000円 西伯郡中学校会負担金75,600円 中学校新入生入学祝い金2,459,591円	
計	4,926,300	4,439,033		

(1)成果上の実績

①達成出来たこと(成果実績)とその理由

○ 研修・視察の実施による教育の質の向上

- ・ 年度当初に町に全教職員を対象とした学力向上研修を実施することにより、対話を通して学びを深める授業について考え方を共有し、その後の授業実践に生かすことができた。
- ・ 教育DXに関する研修に、事務局員と教職員が共に参加し先進事例を学ぶことで、教育委員会と学校が連携してDX化を図ることを確認し、情報共有ツールや教育データの活用について検討を進めることができた。

○ 通学における交通安全対策の維持・向上

- ・ 通学路交通安全確保に向けた連絡会を開催のうえ、「南部町通学路交通安全プログラム」を令和7年度版(令和8年3月改定)に改定し、関連機関と連携しながら通学路の安全対策を実施した。

■ [通学路交通安全プログラムによる交通安全対策](#)

○ 児童生徒の送迎のため車両運行を委託し、校外学習や休日の登下校時の交通手段を確保することにより、児童生徒の教育機会を確保した。

○ 中学校等入学祝い金

- ・ 祝い金を「たすカード」のポイント付与で行うことによって、保護者の家計負担軽減に加え、町内の産業活性化につなげることができた。

②達成出来なかったこと(問題)とその理由

○ 小中一貫教育に関する研修視察を予定していたが、喫緊の課題である教育DXに関する研修を優先したため実施しなかった。

(2)活動上の実績

①実施出来たこと(活動実績)とその理由

○ 研修・視察の実施

- ・ 町主催教職員研修会(学力向上) 参加者60名
岡山大学 高旗浩志氏 講義「協同学習の理論から実践へ～共に学び、高めあう授業に向けて～」
- ・ リーディングDXスクール事業 公開授業参加(事務局1名)
教育DX推進フォーラム(事務局1人、会見小1人、会見第二小1人、南部中1人)
- ・ 南部町子ども読書推進計画策定に係る視察
策定作業に先立ち、アドバイザーおよび共同研究者(青山学院大学大学院・伊藤耕市氏)を招聘し、町内各図書館の視察を通じて本町の現状と課題を共有し、具体的骨子について協議した。

○ 児童生徒の送迎のため車両運行を委託し、校外学習や休日の登下校時の交通手段を確保した。

- ・ 委託先 : 町内在住の方との個人契約1名及び(株)ジャパントラフィックプランニング
- ・ 西伯小:運動会、会見二小:参観日・運動会、南部中:参観日、法勝寺中・南部中:職場体験
その他、南部中から会見二小校区への部活後の送迎。

○ 中学校等入学祝い金

- ・ 中学校に進学する生徒の保護者に経済的負担の軽減を目的に「たすカード」へ30,000ポイントを付与した。
30,000円×82名＝2,460,000円 利用ポイント総額2,459,591円(利用率:99.9%)
- ・ これまで、中学校等入学祝い金20,000ポイント+中学校制服購入助成10,000円を実施していたが、令和7年度以降は制服のリユースが可能となったため制度の見直しを図った。

②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由

予定していた視察が実施できなかったが、今後も必要な内容を精査して効果的な視察を実施する。

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名		3	不登校対策事業						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒	総合計画における位置づけ							
			④心豊かな自律した子どもの育成							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			②教育に挑戦(子育て・教育のまち)							
	意図 (対象をどうするか)	児童生徒が安全・安心に生活できている状態となっており、学校復帰を含めた社会的自立に向けた主体性を高めている。	根拠法令・要綱等							
			名称	南部町教育支援センター設置要綱						
			URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00001092.html						
			名称	南部町教育支援センター等通所費等補助金交付規則						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	教育支援センター「さくらんぼ」や校内サポートルームが、個別のニーズに応じた支援ができる居場所として機能し、不登校出現率が前年度を下回る。	URL							
			URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00001117.html						
名称										
URL										
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	決算増減の理由		執行率の理由			
	19,991 円	285,112 円	265,121 円	1,326.2 %	教育支援センターの環境整備、フリースクール等への通学補助実施による増		緊急事例の発生がなく、スクールカウンセラー報償費が未執行のため			
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減	本年度執行率		57.1 %			
	86 千円	499 千円	413 千円	480.2 %						
【事業内容】										
○ 教育支援センター「さくらんぼ」を拠点とした不登校児童生徒への学習支援・相談の実施。 教育支援センター「さくらんぼ」										
○ 各中学校への校内サポートルーム設置および支援員の配置。(校内教育支援センター支援員配置事業)(国1/3県1/3)										
○ フリースクール等へ通所する児童生徒の保護者に対する通所費および通学費の補助。										
○ スクールカウンセラーの県事業充当分を超える緊急的な事例への対応。										
【決算の状況】										
(計画) (実績) 単位:円										
細 節		予算額	決算額	内 容						
報償費		66,000	0	緊急支援時の県の充当を上回った場合のスクールカウンセラー報償費5,500円×2時間×6回＝66,000円 ※緊急事例なし						
普通旅費		3,000	2,049	12/18校内サポート教室連絡協議会参加旅費(米子市)校内サポートルーム学習相談員(法勝寺中・南部中)2名分						
消耗品費		14,000	13,799	【教育支援センター】事務用品(インクカートリッジ)、教材(紙粘土、油性マジックセット、他)						
燃料費		28,000	9,144	【教育支援センター】灯油代 ※エアコンの故障による						
備品購入費		236,000	202,620	【教育支援センター】パーテーションホワイトボード82,940円 トランポリン39,600円 遮光カーテン80,080円						
その他補助金		152,000	57,500	教育支援センター等通所費等補助金(申請者3名)						
計		499,000	285,112							
(実績)										
(1)成果上の実績										
①達成出来たこと(成果実績)とその理由										
○ 「さくらんぼ」での学習支援や自己肯定感を高める取組、及び、校内サポートルームで自分のペースで過ごすことを支援することにより、学校への登校意欲が向上し、不登校児童生徒(年30日以上欠席)が減少した。										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
15-2-6-1	鳥取県不登校児童生徒支援事業費補助金		0	23,350	7 報償費	0	0			
18-2-4-1	さくら基金繰入金		0	261,762	8 旅費	19,991	2,049			
					10 需用費	0	22,943			
					17 備品購入費	0	202,620			
					18 負担金補助及び交付金	0	57,500			
	一般財源		19,991	0						
	計		19,991	285,112	計	19,991	285,112			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		不登校出現率は減少傾向にあるものの、依然として「主に家で過ごす」児童生徒が多いため、教育支援センター等の居場所支援に加え、家庭訪問等や関係機関との連携を深めることで、社会とつながり自立を促していく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	「さくらんぼ」で中学3年生全員が進路を実現できたノウハウを校内サポートルーム等でも共有するとともに、補助制度の周知を継続することで、児童生徒が安心して自分のペースで過ごせる環境づくりを推進する。								
	解決すべき課題への方策	個々の状況に合わせた少人数での日帰り活動や家庭訪問等の段階的なアプローチを充実させ、家から外部の活動へとつなげていくための支援を強化する。								

事業名	3	不登校対策事業			所属名	総務・学校教育課																																										
()は内新規数 <table><tr><td>小学校</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>不登校児童</td><td>15人(11)</td><td>17人(6)</td><td>12人(3)</td></tr><tr><td>町出現率</td><td>3.10</td><td>3.64</td><td>2.73</td></tr><tr><td>県出現率</td><td>2.77</td><td>2.39</td><td>-</td></tr><tr><td>国出現率</td><td>2.14</td><td>2.30</td><td>-</td></tr></table> <table><tr><td>中学校</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>不登校児童</td><td>19人(9)</td><td>19人(7)</td><td>17人(5)</td></tr><tr><td>町出現率</td><td>7.51</td><td>7.16</td><td>6.74</td></tr><tr><td>県出現率</td><td>7.19</td><td>7.72</td><td>-</td></tr><tr><td>国出現率</td><td>6.71</td><td>6.79</td><td>-</td></tr></table> ○ フリースクール等への通所費・通学費について3名に補助し、児童生徒が自分のペースで過ごせる場所に通所し心の安定や進路を実現させるための足掛かりとなった。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ○ 不登校出現率は昨年度に比べて減少したが、主として家で過ごしている児童生徒が15名(放課後登校、オンライン学習、自宅学習支援含)おり、制度の周知を図ることにより社会とのつながりを構築していく必要がある。 (不登校29名の生活の様子:主として家で過ごす15、主として相談機関に通っている8、主として学校で過ごす6) (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 「さくらんぼ」利用者は8名(中学校7名、小学校1名)であり、中学3年生は3名とも高校に進学し進路を実現できた。校内サポートルーム利用者9名(中学校9名)であり、教室復帰につながる生徒もいた。 ○ 町の教育相談機関における不登校の相談件数は延べ100件(小67、中31、高2)あり、学校等と連携し早期に対応できた。 ○ 西伯地域から「さくらんぼ」への通学費 A:1500円×8月＝12,000円 B:1500円×6月＝9,000円 フリースクール(大山町)への通所費 C:16,000円×2月＝32,000円 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ 「さくらんぼ」における宿泊体験活動の実施を検討したが、通所児童生徒の実態から宿泊体験の計画が立てられず、日帰りの体験活動を計画したが、生徒の事情により実施できなかった。 ○ 主として家で過ごす、週1回程度、保護者と放課後に学校に行く児童生徒もいる。学校等と連携し、家から外部での活動につなげていくことが必要。 ○ 県充当分を超えるようなスクールカウンセラーの緊急配置はなかったが、引き続き緊急的な事例へ対応できる体制を整えておく。									小学校	R5	R6	R7	不登校児童	15人(11)	17人(6)	12人(3)	町出現率	3.10	3.64	2.73	県出現率	2.77	2.39	-	国出現率	2.14	2.30	-	中学校	R5	R6	R7	不登校児童	19人(9)	19人(7)	17人(5)	町出現率	7.51	7.16	6.74	県出現率	7.19	7.72	-	国出現率	6.71	6.79	-
小学校	R5	R6	R7																																													
不登校児童	15人(11)	17人(6)	12人(3)																																													
町出現率	3.10	3.64	2.73																																													
県出現率	2.77	2.39	-																																													
国出現率	2.14	2.30	-																																													
中学校	R5	R6	R7																																													
不登校児童	19人(9)	19人(7)	17人(5)																																													
町出現率	7.51	7.16	6.74																																													
県出現率	7.19	7.72	-																																													
国出現率	6.71	6.79	-																																													

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名		5	児童生徒就学援助・奨励事業						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	経済的理由によって就学することが困難と認められる児童生徒の保護者						総合計画における位置づけ		
								④心豊かな自律した子どもの育成		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)		
	意図 (対象をどうするか)	就学に必要な経費を援助することで、経済的負担を軽減し、児童生徒が教育活動に円滑かつ安心して参加できる状態となっている。						根拠法令・要綱等		
								名称	南部町就学援助費給付要綱	
								URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000813.html	
								名称	特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	援助が必要な世帯への適切な支援により、義務教育の円滑な実施と、児童生徒の学習機会の均等化が図られる。						URL	http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken/syoreihi_yoko2012.pdf	
								名称	南部町特別支援教育就学奨励費支給要綱	
URL								https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000932.html		
決算増減の理由								執行率の理由		
前年度比較		前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		
		11,528,773 円		9,322,777 円		△ 2,205,996 円		△ 19.1 %		
		前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減		
		12,867 千円		12,554 千円		△ 313 千円		△ 2.4 %		
						本年度執行率		74.3 %		
【事業内容】										
○ 南部町就学援助費給付要綱に規定する給付対象者を要保護者、準要保護者に認定し、次の経費を援助する。 要 保 護・・・修学旅行費、医療費、日本スポーツ振興センター掛金 (学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費、オンライン学習通信費、卒業アルバム代等購入費については、生活保護費(福祉事務所)から支給される。) 準要保護・・・学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費、日本スポーツ振興センター掛金、オンライン学習通信費、卒業アルバム代等購入費 ■ 日本スポーツ振興センター掛金										
○ 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者で希望する方に対し、特別支援教育就学奨励費として学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費、オンライン学習通信費、交流及び共同学習時の通学費の一部を援助する。 ■ 児童生徒の就学に関すること										
【決算の状況】										
○要保護・準要保護就学援助費 (要保護児童生徒援助費補助金 補助率 国1/2)										
		(計画)		(実績)						
		小学校	中学校	小学校	中学校					
人数	要保護(人)	3	1	0	0					
	準要保護(人)	71	50	62	44					
	計(人)	74	51	62	44					
支給	日本スポーツ振興センター掛金(円)	54,000		47,880		(負担金補助及び交付金)				
	学用品費等(円) (A)	11,436,000		8,965,296		(扶助費)				
	計(円)	11,490,000		9,013,176						
就学援助認定率 (%)				15.41%						
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
14-2-5-1	要保護児童生徒援助費補助金				11,000	0	18 負担金補助及び交付金	51,620	47,880	
14-2-5-1	特別支援教育就学奨励費補助金				226,000	154,000	19 扶助費	11,477,153	9,274,897	
15-2-6-1	被災児童生徒就学援助事業費補助金				135,936	127,123				
20-5-5-1	日本スポーツ振興センター補助金				19,830	10,370				
	一般財源				11,136,007	9,031,284				
	計				11,528,773	9,322,777	計	11,528,773	9,322,777	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		引き続き福祉事務所や町民生活課との連携を図り、学校入学説明会やその他の機会をとらえ、保護者への制度の周知を積極的に行うことで潜在的な支援必要世帯の早期発見に努める。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		学校、スクールソーシャルワーカー、給食担当者との情報共有をより一層強化し、個々の児童生徒の状況に応じたきめ細やかな相談体制を構築する。							
	解決すべき課題への方策		保護者への事業の認定基準や申請方法について、学校の支援会議等を活用しながら、申請漏れを防ぐ取組を行う。							

事業名	5	児童生徒就学援助・奨励事業	所属名	総務・学校教育課															
(A) 学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費、卒業アルバム代等購入費、オンライン学習通信費、医療費 準要保護のうち2名(小1、中1)が被災児童生徒就学支援等事業の対象者 (被災児童生徒就学援助事業費補助金 補助率 県10/10) ○ 特別支援教育就学奨励費 (特別支援教育就学奨励費補助金 補助率 国1/2) (計画) (実績) <table><tr><td></td><td>小学校</td><td>中学校</td><td>小学校</td><td>中学校</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>16</td><td>5</td><td>10</td><td>4</td></tr><tr><td>支給(円)</td><td colspan="2">1,064,000</td><td colspan="2">309,601 (扶助費)</td></tr></table> (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ○ 準要保護対象106人、特別支援教育就学奨励費対象14人に対し、学用品費、給食費、修学旅行費等の援助を行うことで、対象世帯の経済的、心理的負担の軽減を図り、児童生徒が教育活動に安心して参加できる環境を維持した。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ○ 就学援助認定率が15.41%となり、前年度実績の17.98%を下回った。所得の変動や世帯構成の変化による対象者の減少が考えられるが、制度が必要な世帯に行き届くよう、関係者間の連携をより密にして周知を図る必要がある。 (参考:令和5年度 県15.11% 国13.71%) (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 学校入学説明会等の機会を活用し、全保護者へ制度周知のチラシ配布を行った。 ○ スクールソーシャルワーカー、福祉事務所と連携し、生活保護世帯の状況把握に努めた。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ 当初見込みに対し認定者数が少なかったこと、および修学旅行や校外活動の実施形態の変更による実支出額の減少により、執行率が低調であった。						小学校	中学校	小学校	中学校	人数(人)	16	5	10	4	支給(円)	1,064,000		309,601 (扶助費)	
	小学校	中学校	小学校	中学校															
人数(人)	16	5	10	4															
支給(円)	1,064,000		309,601 (扶助費)																

事業名	6	英語教育充実事業	所属名	総務・学校教育課
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 有限会社イングリッシュスクール(R5.4.1～R8.3.31)への業務委託による外国語指導助手(ALT)2名を配置し、英語の発音や文化に触れる機会を増やした。 両中学校へそれぞれ1人ずつ配置 1日当たり6時間 週22コマ程度 ○ 外国語支援員(2名)の配置 西伯小と会見小を合わせて1名、会見二小に1名配置し、会話を通して英語に慣れ親しむ機会を増やした。 学校との時間割調整会議を経て、西伯、会見は1日当たり6時間 週22コマ程度、会見二小は週4コマ程度 ○ 夏季休業中に5校でイングリッシュデーの開催 英語教育担当者、イングリッシュスクールと連携して開催し児童生徒が意欲的に英語でのコミュニケーションをとることができた。 令和7年度37名参加 (令和6年度38名参加) ○ AI英会話アプリの導入 ・ 中学1～3年:TerraTalk 基本的な英会話+教科書連動教材 (1,320+2,640)円×261人≒1,034千円 ・ 小学5～6年:TerraTalk 基本的な英会話 1,320円×151人≒199千円 TerraTalk…実践的な英語を学ぶためのAIアプリ。英会話や教科書の準拠教材など様々な学習ニーズに対応している。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ ALTや外国語支援員と各校教員、あるいは小中学校の担当者間での、連絡協議会を3回実施したが、オンラインやチャット等を活用して、頻度を増やし組織的な指導体制を協議していく。				

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名		7	地域とともに歩む学校づくり推進事業(教育委員会事務局)						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒、教職員、町民	総合計画における位置づけ							
			④心豊かな自律した子どもの育成							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			②教育に挑戦(子育て・教育のまち)							
	意図 (対象をどうするか)	地域学校協働活動推進員の配置等により、地域ぐるみで子どもを育む仕組みを整えることでめざす子ども像に近づいている。	根拠法令・要綱等							
			名称	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要綱						
			URL	https://manabi-mirai.mext.go.jp/upload/R7kouhuyoukou.pdf						
			名称	南部町学校運営協議会設置要綱						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	CS関係者の自組織の活動を見直す視点や地域を巻き込む視点を 用いて地域とともに歩む学校づくりを推進する。	URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000687.html						
			名称							
URL										
決算増減の理由			執行率の理由							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		81.8 %			
	783,870 円	1,474,398 円	690,528 円	88.1 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	1,225 千円	1,802 千円	577 千円	47.1 %						

【事業内容】

○ 中学校区単位のコミュニティ・スクール(CS)活動の充実を図り、小中一貫教育の視点を強化する。

○ 中学校区単位及び各学校における熟議を学校運営や教育活動に生かすとともに、地域との協働活動の充実を図る。

○ 「まち未来科」の充実を図り、地域総ぐるみで子どもを育む体制を一層強化する。

○ 町民のCS活動への参画の機運を高めるため、広報を行う。

(学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金の活用 補助率 国1/3・県1/3)

【決算の状況】

(計画)

○ 学校運営協議会及びCS委員会委員謝金の支払い

○ CSに係る研修会の開催

○ 全国コミュニティ・スクール研究大会への参加

○ 学校運営協議会委員及びCS委員の先進地視察の実施(山口県萩市)

○ CS広報動画の作成

(計画)		(実績)		単位:円		
細 節	予算額	決算額	内 容			
報償費	551,000	279,450	学校運営協議会及びCS委員会委員謝金 1,350円×207人			
研修旅費	362,000	361,048	コミュニティ・スクール県外視察研修宿泊費7,500円×13人＝97,500円 全国コミュニティ・スクール研究大会in仙台参加旅費263,548円(3人)			
消耗品費	10,000	9,240	PPC用紙			
その他の委託料	501,000	500,500	コミュニティ・スクール広報動画作成			
借上料	378,000	324,160	自家用車借上料(協働活動統括推進員)8,160円 コミュニティ・スクール県外視察研修バス借上料316,000円			
計	1,802,000	1,474,398				

(歳入内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-6-1	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金	326,000	785,000	7 報償費	314,300	279,450
				8 旅費	371,148	361,048
				10 需用費	90,422	9,240
				12 委託料	0	500,500
				13 使用料及び賃借料	8,000	324,160
	一般財源	457,870	689,398			
	計	783,870	1,474,398	計	783,870	1,474,398

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

子どもを取り巻く課題解決のため、学校のみならず家庭や地域住民等が相互に連携・協働し、地域全体で子どもたちの教育環境を向上させていく。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成出来た点をさらに伸ばす方策

地域ボランティアや保護者にとどまらない多様な人材の確保に向け、PTAや地域自治組織と連携・協働していく。

解決すべき課題への方策

上記に関連して、学校とPTAの関係の見直しの中で、学校とコミュニティ・スクールとの関係も捉え直すこととしている。

事業名	7	地域とともに歩む学校づくり推進事業(教育委員会事務局)	所属名	総務・学校教育課																								
(1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ○ 先進地視察による取組の見直しと学校・学校運営協議会等への還元 CS関係者が主体的に他組織から学び、自組織の活動を見直すための機会を得た。 10/28-29南部町CS視察研修 ・ 視察先 山口県萩市教育委員会、萩市立萩東中学校、萩市立椿東小学校 ・ 参加者 13人 (参考)萩市CS視察研修まとめWEBサイト ■ 萩市CS視察研修 ○ CS広報動画の作成による町民への周知 これまでの取組を振り返るとともに、町民のCS活動への参画の機運を高めることができた。 ・ 委託先 D-MAGIC ・ 金 額 500,500円 南部町コミュニティ・スクール紹介動画 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ○ 研修で知見を深めた地域と学校が一体となって学びを支える仕組みや取組については検討段階にあり、町内や各校の実情に即した形での取組深化にまでは至っていない。町民向けの動画を用いた周知は、現在来庁者向けの放送が主となっており、民間施設での放送や研修での活用まで展開できなかった。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 学校運営協議会委員及びCS委員会の開催 <table><tr><td>・ 南部中学校区学校運営協議会委員謝金</td><td>4回(4/3、9/1、12/16、3/6)</td><td>参加者 延べ29人</td></tr><tr><td>・ 法勝寺中学校区学校運営協議会委員謝金</td><td>4回(4/15、6/10、12/12、3/3)</td><td>参加者 延べ25人</td></tr><tr><td>・ 会見第二小学校運営協議会委員謝金</td><td>4回(4/12、6/3、9/5、1/14)</td><td>参加者 延べ40人</td></tr><tr><td>・ CS委員会委員謝金</td><td></td><td></td></tr><tr><td>┌ 会見小</td><td>6回(4/14、6/10、8/28、11/6、2/5、3/23)</td><td>参加者 延べ48人</td></tr><tr><td>└ 南部中</td><td>2回(4/30、8/25)</td><td>参加者 延べ14人</td></tr><tr><td>└ 西伯小</td><td>4回(5/9、6/10、11/4、2/27)</td><td>参加者 延べ17人</td></tr><tr><td>└ 法勝寺中</td><td>6回(4/16、5/1、6/10、7/11、10/10、2/25)</td><td>参加者 延べ34人</td></tr></table> ○ CSに係る研修会の開催 ・ 学校教育と社会教育の一体的推進に資する取組として、合同研修を開催した。 ・ 7/28南部町学校教育・社会教育合同拡大審議会(兼)南部町コミュニティ・スクール研修会 講師 栃木県立真岡工業高等学校 校長 井上昌幸氏 (元・文部科学省国立教育政策研究所社会教育実践研究センター専門調査員・社会教育調査官) 参加者 58人 内容 講義「持続可能な地域づくりとコミュニティ・スクール」 グループ討議「地域と学校の連携が一層深まった5年後の地域または学校の具体的な姿」 他 ○ 全国コミュニティ・スクール研究大会への参加 ・ 他自治体等とのネットワークを強化することができた。また、先進事例や各種教育施設・機関との連携後の施策へ活用可能な多くの知見を得ることができた。 ・ 11/7-9全国コミュニティ・スクール研究大会in仙台(兼)地域とともにある学校づくり推進フォーラム2025仙台 参加者 3人 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ 学校運営協議会が当初予定より減(3協議会予定14回のところ実施11回)であったが、前年度実績をもとに計画したことによるものであり、協議内容と時期を考えて計画する必要がある。 熟議… 学校と地域住民で「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話のこと。活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができる。					・ 南部中学校区学校運営協議会委員謝金	4回(4/3、9/1、12/16、3/6)	参加者 延べ29人	・ 法勝寺中学校区学校運営協議会委員謝金	4回(4/15、6/10、12/12、3/3)	参加者 延べ25人	・ 会見第二小学校運営協議会委員謝金	4回(4/12、6/3、9/5、1/14)	参加者 延べ40人	・ CS委員会委員謝金			┌ 会見小	6回(4/14、6/10、8/28、11/6、2/5、3/23)	参加者 延べ48人	└ 南部中	2回(4/30、8/25)	参加者 延べ14人	└ 西伯小	4回(5/9、6/10、11/4、2/27)	参加者 延べ17人	└ 法勝寺中	6回(4/16、5/1、6/10、7/11、10/10、2/25)	参加者 延べ34人
・ 南部中学校区学校運営協議会委員謝金	4回(4/3、9/1、12/16、3/6)	参加者 延べ29人																										
・ 法勝寺中学校区学校運営協議会委員謝金	4回(4/15、6/10、12/12、3/3)	参加者 延べ25人																										
・ 会見第二小学校運営協議会委員謝金	4回(4/12、6/3、9/5、1/14)	参加者 延べ40人																										
・ CS委員会委員謝金																												
┌ 会見小	6回(4/14、6/10、8/28、11/6、2/5、3/23)	参加者 延べ48人																										
└ 南部中	2回(4/30、8/25)	参加者 延べ14人																										
└ 西伯小	4回(5/9、6/10、11/4、2/27)	参加者 延べ17人																										
└ 法勝寺中	6回(4/16、5/1、6/10、7/11、10/10、2/25)	参加者 延べ34人																										

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計																														
事業名		8	高校等通学定期券助成事業						所属名	総務・学校教育課																														
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	公共交通機関を利用して通学する生徒及び保護者	総合計画における位置づけ																																					
			④心豊かな自律した子どもの育成																																					
			「4つの挑戦」から見た位置づけ																																					
			②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																					
	意図 (対象をどうするか)	就学期の子どもを抱える世帯の経済的負担の軽減、教育の機会均等が図られている。	根拠法令・要綱等																																					
			名称	南部町高等学校等通学定期乗車券等購入助成金交付規則																																				
			URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000830.html																																				
			名称																																					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	・電子申請の活用による申請者の利便性向上 ・申請に係る傾向分析の調査研究	URL																																					
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	非該当		非該当																																	
	2,512,500 円	3,121,700 円	609,200 円	24.2 %																																				
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																																				
	2,612 千円	3,122 千円	510 千円	19.5 %																																				
		本年度執行率	100.0 %																																					
【事業内容】 ○ 定期券等により公共交通機関(路線バス及び鉄道)を利用して通学する生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減することにより教育の機会均等を図るとともに、公共交通機関の利用を促進することにより公共交通の維持に対する一助となることを目的に、高等学校等への通学に係る定期券及び回数券購入費の1/2(100円未満は切り捨て)を助成する。 ○ 鳥取県高校生等通学費助成事業補助金の活用 (補助率: 県1/2) 【決算の状況】 (計画) 申請者に対し、定期券及び回数券購入の1/2(100円未満は切り捨て)を助成する。 <table><tr><td>バス(定期券)</td><td>西伯方面⇄米子方面</td><td>1,082,400 円</td></tr><tr><td></td><td>会見方面⇄米子方面</td><td>200,520 円</td></tr><tr><td></td><td>米子駅⇄各方面</td><td>246,380 円</td></tr><tr><td>JR(定期券)</td><td>岸本駅⇄根雨駅</td><td>145,980 円</td></tr><tr><td></td><td>米子駅⇄倉吉方面</td><td>95,160 円</td></tr><tr><td></td><td>米子駅⇄境港方面</td><td>557,700 円</td></tr><tr><td>バス(回数券)</td><td>法勝寺線</td><td>481,500 円</td></tr><tr><td></td><td>御内谷線</td><td>124,700 円</td></tr><tr><td></td><td>その他</td><td>89,000 円</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>3,023,000 円 (丸め)</td></tr></table>											バス(定期券)	西伯方面⇄米子方面	1,082,400 円		会見方面⇄米子方面	200,520 円		米子駅⇄各方面	246,380 円	JR(定期券)	岸本駅⇄根雨駅	145,980 円		米子駅⇄倉吉方面	95,160 円		米子駅⇄境港方面	557,700 円	バス(回数券)	法勝寺線	481,500 円		御内谷線	124,700 円		その他	89,000 円			3,023,000 円 (丸め)
バス(定期券)	西伯方面⇄米子方面	1,082,400 円																																						
	会見方面⇄米子方面	200,520 円																																						
	米子駅⇄各方面	246,380 円																																						
JR(定期券)	岸本駅⇄根雨駅	145,980 円																																						
	米子駅⇄倉吉方面	95,160 円																																						
	米子駅⇄境港方面	557,700 円																																						
バス(回数券)	法勝寺線	481,500 円																																						
	御内谷線	124,700 円																																						
	その他	89,000 円																																						
		3,023,000 円 (丸め)																																						
(歳入内訳 単位:円)																																								
(歳出内訳 単位:円)																																								
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																	
15-2-6-1	鳥取県高校生通学費助成制度補助金		1,255,000	1,560,000	18 負担金補助及び交付金	2,512,500	3,121,700																																	
	一般財源		1,257,500	1,561,700																																				
計			2,512,500	3,121,700	計	2,512,500	3,121,700																																	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		保護者の経済的負担軽減のため、引き続き助成を続けていく。																																					
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																							
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	窓口申請の際に電子申請の紹介及び説明を行い、利用促進を図る。																																						
	解決すべき課題への方策	申請漏れのないよう、広報への掲載や中学3年生の保護者への本事業の案内をこれまで通り継続して行い利用を促す。また、傾向分析の手法を調査研究し、検討・実施する。																																						

事業名	8	高校等通学定期券助成事業	所属名	総務・学校教育課	
(実績)					
申請者に対し、定期券及び回数券購入の1/2(100円未満は切り捨て)を助成した。					
バス(定期)	西伯方面⇄米子方面	2,571,800 円	×	0.5 =	1,285,900 円
	会見方面⇄米子方面	178,400 円	×	0.5 =	89,200 円
	米子駅⇄各方面	352,400 円	×	0.5 =	176,200 円
JR(定期)	岸本駅⇄根雨駅	291,400 円	×	0.5 =	145,700 円
	米子駅⇄倉吉方面	489,900 円	×	0.5 =	244,900 円
	米子駅⇄境港方面	725,800 円	×	0.5 =	362,900 円
バス(回数券)	法勝寺線	1,118,400 円	×	0.5 =	559,200 円
	御内谷線	364,000 円	×	0.5 =	182,000 円
	その他	151,400 円	×	0.5 =	75,700 円
3,121,700 円					
申請が見込みの件数を超過したため、不足額98,700円を流用にて対応した。					
(1)成果上の実績					
①達成出来たこと(成果実績)とその理由					
令和5年度から開始した電子申請での受付が申請件数345件のうち308件で89%と高い利用率となっている。 閉庁時間外(夜間、土日祝日)の申請もあり、申請者の利便性向上が図られている。					
②達成出来なかったこと(問題)とその理由					
全体としての生徒数は減少しているが、公共交通機関を利用する生徒の割合等は把握できておらず、助成額と相関関係があるか不明である。 また、回数券の申請件数が増加しているが、同様に分析ができていない状況である。					
(2)活動上の実績					
①実施出来たこと(活動実績)とその理由					
中学3年生保護者に対し制度の説明を行った。また、情報なんぶへ記事を掲出し、申請期限の周知を図った。					
②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由					
新入生徒の1件あたりの単価増や、冬期の新規申請などあり、昨年度決算より増となった。 当初予算は前年度上半期の申請状況をもとに積算しているが、より実態に即した正確な申請見込みを把握するための傾向分析に着手できなかった。					
(参考)					
申請人数、申請件数及び助成額					
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
申請人数		102名	89名	96名	
申請件数	バス	153件	103件	132件	
	鉄道	66件	55件	63件	
	回数券	114件	158件	206件	
	計	333件	316件	401件	
助成額	バス	1,870,800円	1,346,500円	1,551,300円	
	鉄道	561,100円	630,300円	753,500円	
	回数券	439,600円	535,700円	816,900円	
	計	2,871,500円	2,512,500円	3,121,700円	

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計		
事業名		11	少人数学級対応事業						所属名	総務・学校教育課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒	総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等						名称	公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律		
									URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/07061116/003/005.htm		
									名称	鳥取県公立小・中・義務教育・特別支援学校学級編制基準		
									URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1382037/gian2.pdf		
	意図 (対象をどうするか)	学校生活全体において、よりきめ細やかな指導・支援を受けることができる。	名称 URL									
									決算増減の理由		執行率の理由	
									対象学年の基準による負担金増のため		非該当	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	児童一人ひとりに目が行き届くことで、個々の学習進度や理解度に合わせたきめ細やかな指導が可能になるとともに、つまずきの早期発見や得意分野の伸長が促され、主体的な学習意欲と自己肯定感の向上がアンケート等から読み取れる。	本年度執行率						100.0 %			

【事業内容】									
○ 小学校全学年及び中学校1年生は30人学級、中学校2・3年生は35人学級を編制する。									
R7年度学級編成基準									
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
南部町	30	30	30	30	30	30	33	35	35
県	30	30	30	30	30	30	33	35	35
国	35	35	35	35	35	35	40	40	40

県

協力金

南部町

教員

・小1、小2、中1は県費により少人数学級実施

・それ以外の学年は、国基準を超えて県基準の少人数学級を実施する場合は200万円の協力金が必要

・県基準を超えて少人数学級を実施する場合は500万円の協力金が必要

【決算の状況】						
(計画)						
○ 南部中学校1年生(33人)を30人以下の2学級編成とする						
県基準を超えての少人数学級実施かつ、クラス数増による教職員定数が2名増のため						
500万円×2名＝1,000万円の協力金						
○ 南部中学校2年生(36人)を35人以下の2学級編成とする						
国基準を超えて県基準の少人数学級を実施するため 200万円の協力金						
(実績)						
(1)成果上の実績						
①達成出来たこと(成果実績)とその理由						
○ 少人数によるきめ細やかな指導や支援により、学習意欲や教師への信頼度が高まった。						
南部中学校学校評価アンケート(生徒肯定的評価)						
・ 学校生活を楽しく過ごせている 99.4%						
・ 進んで学習に取り組んでいる 90.7%						
・ 先生は生徒のことをよく見ている 91.7%						

(歳入内訳 単位:円)				(歳出内訳 単位:円)			
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
18-2-4-1	さくら基金繰入金	0	12,000,000	25 寄附金	5,000,000	12,000,000	
	一般財源	5,000,000	0				
	計	5,000,000	12,000,000	計	5,000,000	12,000,000	

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		少人数学級を継続し、引き続ききめ細やかな指導・支援を行うことで、1人1人の可能性を最大限に伸ばすとともに、安心・安全な教育環境の実現につなげる。	
	②次年度へ向けた次への行動・具体策			
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	少人数学級の安心感と先生との信頼関係をベースにさらに主体的・対話的で深い学びを推進し、学習意欲と自己肯定感を一層高める。		
	解決すべき課題への方策	中学校において少人数指導(TT:ティーム・ティーチング等)を充実させ、より高度な学習内容に対しても個に応じた支援ができる体制を強化する。		

事業名	11	少人数学級対応事業	所属名	総務・学校教育課
②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ○ 少人数学級の良さを生かした児童生徒同士の学び合いや発表の場をさらに増やすことで、主体的・対話的で深い学びを推進し、学習意欲と自己肯定感を一層高めていく必要がある。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 計画通り小学校全学年および中学校1年生(30人学級) ○ 中学校2・3年生(35人学級)の編制を維持した。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ 学級編制は計画通り実施されたが、年度途中の転入等による急激な児童生徒数の変動への対応を常に注視する必要がある。				

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名		12	学校経営校長戦略事業						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒及び教職員	総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等							
	意図 (対象をどうするか)	校長のリーダーシップの下で戦略的な学校経営を推進することにより、学校教育の充実を図るとともに各校が抱える独自の課題を解決している。	名称		教育基本法					
			URL		https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html					
			名称		学校教育法					
			URL		https://laws.e-gov.go.jp/law/322AC0000000026					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	教職員の授業力向上による学力向上や各中学校区における小中の系統性を生かした教育の推進、DX推進等による働き方改革の視点など学校課題の解決を図る。	名称							
			URL							
決算増減の理由			執行率の理由							
非該当			先進地視察の人数の精査による不用額が出たため							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		65.6 %			
	725,049 円	720,801 円	△ 4,248 円	△ 0.6 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	787 千円	1,099 千円	312 千円	39.6 %						
【事業内容】 ○ 現地を訪れて先進的な取組に学び、新たな学力向上モデルの構築を図る。 ○ 学校別・中学校区別課題を明確にし、小小連携・小中連携の推進を基盤として、その課題解決に校長のリーダーシップを発揮し、戦略的な取組を展開する。 ○ 授業研究会、研修会の開催等、学校課題の解決に資する取組を実施する。										
【決算の状況】										
単位:円										
細 節		(計画) 予算額	(実績) 決算額	内 容						
報償費		138,000	35,000	【会見二小】6/11校内研修講師謝金5,000円×3時間＝15,000円 【法勝寺中】11/13人権教育講演講師謝金5,000円×2時間＝10,000円 11/13ライブペイント謝金5,000円×2時間＝10,000円						
普通旅費		517,000	263,941	【会見小】6/13-15東京都文京区70,785円 9/8岡山県岡山市11,000円×2人＝22,000円 2/13-15東京都文京区75,360円 【西伯小】8/5岡山県玉野市13,960円×2人＋13,300円＝41,220円 8/27岡山県岡山市10,920円 9/7岡山県岡山市11,000円×3人＝33,000円 【法勝寺中】11/13人権教育講演講師旅費1,776円 11/15岡山県小田郡矢掛町8,880円						
消耗品費		245,000	198,780	【会見小】6/14-15、2/14-15学校公開・初等教育研究会参加費 5,000円×1人×2回＝10,000円 【西伯小】毎日小学生新聞40円×50部×12回分＝24,000円 【西伯小】ミストシャワー70,400円 【法勝寺中】ワンタッチテント94,380円						
使用料		99,000	99,000	【南部中】デジタル採点ソフト新規導入ライセンス料						
備品購入費		124,080	124,080	【南部中】ポータブル電源(災害時予備電源)※予算流用にて対応						
計		1,123,080	720,801							
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
18-2-4-1	さくら基金繰入金		725,049	0	7 報償費	223,000	35,000			
					8 旅費	373,195	263,941			
					10 需用費	0	198,780			
					13 使用料及び賃借料	88,154	99,000			
					17 備品購入費	40,700	124,080			
	一般財源		0	720,801						
	計		725,049	720,801	計	725,049	720,801			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		校長のリーダーシップにより学校課題を戦略的に解決し、小中学校区単位での連携を強化して、町全体で「ふるさとに学び、未来を生き抜く子ども」を育てる教育環境の充実を図る。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	先進地視察や外部講師の招聘で得た最新の知見を各校の日常的な授業実践や校内研修に還元したり、熱中症対策や防災備品の整備といった、児童生徒の安全・安心を支える教育環境の維持・向上を継続的に進める。								
	解決すべき課題への方策	DXツールを教育の質向上へつなげるとともに、校長会等で事例を共有し、学校間の取組差を解消して事業活用を促していく。								

事業名	12	学校経営校長戦略事業	所属名	総務・学校教育課
(1) 成果上の実績 ① 達成出来たこと(成果実績)とその理由 ○ 先進地視察を教職員の指導力向上と授業実践への還元 ・ 教職員が「主体的・対話的で深い学び」や最新のICT活用について学び、研修成果を還元した授業改善を進めた。 ○ 教育環境の充実と業務の効率化 ・ ミストシャワー・テント等の設置による熱中症対策、災害時予備電源の確保など、児童生徒が安全に学べる環境を整えた。 ・ デジタル採点ソフトの導入により、教職員の採点業務が短縮され、児童生徒への指導に注力できる環境を整えた。 ② 達成出来なかったこと(問題)とその理由 ・ ICT活用やソフト等の導入には至ったが、情報を共有したり、データを分析したりして、教育の質の向上をさらに図る必要がある。 (2) 活動上の実績 ① 実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 専門家・外部講師の招聘 ・ 会見第二小学校:※島根在住のCanvaの講師を招き、校務DXと授業改善のための研修を実施した。 ・ 法勝寺中学校:住職による人権教育講演や、アーティストによるライブペイントを実施し、生徒の感性や人権意識を育む機会を創出した。 ■ Canva…直感的な操作で意見の共有やプレゼン等が作れる1人1台端末のアプリ ○ 先進的な取組の視察 ・ 会見小学校・西伯小学校:筑波大学附属小学校(東京都)や岡山市立芳泉小学校を視察し、町が推進する「協同学習」の深化や、最新の生成AI活用についての実践を学び、対話により学びが深まる授業の実践につなげた。 ・ 法勝寺中学校:岡山県矢掛中学校の校内研究会に参加し、「協同学習」について自ら実践レベルを確認するとともに新たな知見を得て対話的な学びを推進した。 ○ 特色ある教育・安全環境の整備 主に熱中症対策や地震を経験したことから見えてきた課題に対応することができた。 ・ 西伯小学校:社会への関心を高めるため「毎日小学生新聞」を購読したほか、熱中症対策としてミストシャワーを設置した。 ・ 法勝寺中学校:屋外活動での熱中症対策のため、ワンタッチテントを整備した。 ・ 南部中学校:災害時の予備電源として、非常時対応のためのポータブル電源を整備した。 ・ 南部中学校:教職員の働き方改革(業務改善)を目的として、デジタル採点ソフトを導入した。 ② 実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ 取組状況に学校間で差が見られるため、校長会等で事例を共有し、それぞれの課題解決に向けた活用を推進する必要がある。				

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名		15	ICT活用事業						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒	総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等							
	意図 (対象をどうするか)	ICTを活用しながら、学びの深化・展開を図り、主体的に学習に向かう力を育んでいる。	名称		南部町情報セキュリティポリシー					
			URL		https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/digital/v727/					
			名称							
			URL							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	1人1台端末と通信ネットワークの学校ICT環境整備を進め、多様な場面でのタブレット端末の活用を通して児童生徒の情報活用能力の育成を図り、主体的・対話的で深い学びの充実させている。	名称							
			URL							
決算増減の理由			執行率の理由							
大型モニターの整備数減のため。			非該当							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		92.6 %			
	5,175,056 円	3,054,218 円	△ 2,120,838 円	△ 41.0 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	5,195 千円	3,297 千円	△ 1,898 千円	△ 36.5 %						
【事業内容】 ○ GIGAスクール構想の推進に係る環境整備 ○ ICT支援員による学習用タブレット端末活用の推進 ○ クラウド型ドリル(小学校5教科、中学校10教科)による基礎学力の定着 ○ 大型モニターを活用した視覚的、協働的な学習による教育の質の向上										
【決算の状況】										
単位:円										
		(計画)	(実績)							
細 節		予算額	決算額	内 容						
その他の委託料		308,000	308,000	タブレットアカウント設定308,000円((株)ケーオウエイ)						
借上料		865,680	840,699	パソコン機器等賃貸借819,819円((株)ケイズ) 自家用車借上料20,880円(個人)						
使用料		1,472,000	1,471,536	フィルタリングソフト204,336円((株)鳥取県情報センター) クラウド型ドリル教材1,267,200円((株)ジャストシステム)						
備品購入費		546,000	329,175	大型モニター329,175円 4台						
補償金		105,320	104,808	授業目的公衆送信補償金104,808円						
計		3,297,000	3,054,218							
(1)成果上の実績										
①達成出来たこと(成果実績)とその理由										
○ 1人1台端末を活用できる環境を整え、自分のペースで自分に合った学び方を選択することで、学習意欲を高め学びを深めることができた。										
全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙(肯定的評価)										
・ 自分のペースで理解し、学習を進めることができる										
小:85.5% 全国:81.3%										
・ 分からないことがあった時にすぐ調べることができる										
小:81.1% 全国:89.2%)										
・ 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる										
小:87.0% 全国:84.6%										
・ インターネットを使って情報を収集することができる										
中:97.1% 全国:91.5%										
・ ICT機器を使って情報を整理することができる										
(図、表、グラフ、思考ツールなどでまとめる)										
中:63.4% 全国:63.3%										
・ 話し合いを通じて考えを深めたり新たな考えに気づく										
中:87.3% 全国:84.7%										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
15-2-6-1	鳥取県eラーニング教材活用等支援事業費補助金			598,125	633,600	12 委託料	308,000	308,000		
						13 使用料及び賃借料	2,418,390	2,312,235		
						17 備品購入費	2,337,720	329,175		
						21 補償補填及び賠償金	110,946	104,808		
	一般財源			4,576,931	2,420,618					
	計			5,175,056	3,054,218	計	5,175,056	3,054,218		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		整備されたパソコンの保守点検及びソフトウェア等の更新を行い、児童生徒が活用できる環境を整えとともに、タブレットを「思考・表現・協働」のツールとして深化させ、情報活用能力と確かな学力の向上を図る。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	児童生徒のICT機器利用に対する意欲の高さを生かし、児童生徒の主体的な活用をさらに進めるとともに、ドリル等のデータ活用して、児童生徒1人1人の個別最適な学びを推進する。								
	解決すべき課題への方策	ICTの利点である共有機能と外部連携について、研修や情報発信をして、表現力向上に向けた利用を推進していく。								

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	1	学校管理費	会計名	一般会計
事業名		1-1	小学校管理費						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	会見小学校・会見第二小学校・西伯小学校							総合計画における位置づけ	
									④心豊かな自律した子どもの育成	
									「4つの挑戦」から見た位置づけ	
									②教育に挑戦(子育て・教育のまち)	
	意図 (対象をどうするか)	施設設備の維持管理、校内教育環境を整え、児童が健全で安全に学ぶことができるようにしている。							根拠法令・要綱等	
									名称	教育基本法
									URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html
									名称	学校教育法
	成果の視点 (どのような効果があるか)	児童の安心安全な学校生活が確保され、地域や保護者から信頼される学校づくりを展開していく。							URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/322AC00000000026
									名称	学習指導要領
URL									https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm	
決算増減の理由									執行率の理由	
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		94.0 %		
		38,891,746 円	36,231,327 円	△ 2,660,419 円	△ 6.8 %					
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減					
		40,419 千円	38,525 千円	△ 1,894 千円	△ 4.7 %					
【事業内容】										
○ 学校施設設備の維持管理を行う。										
○ 児童・教職員の学校生活と学校運営管理に必要な物品を購入する。										
○ 児童・教職員の健康と安全のための事業を行う。										
○ 児童用・教職員用のタブレット、パソコン、周辺機器及び校内ネットワーク設備の維持管理を行う。										
■ 南部町立小・中学校管理規則										
【決算の状況】										
(計画) (実績)										
詳細は次ページに掲載										
(1)成果上の実績										
①達成出来たこと(成果実績)とその理由										
○ 各種保守点検の適切な実施、計画的な維持管理を通して重大な設備事故等の未然防止に努め、安心安全な教育環境の整備を行った。安心して通える学校の運営・管理に努め、重大事故や大規模感染等の発生を防いだ。										
②達成出来なかったこと(問題)とその理由										
○ 修繕および設備更新を必要とする箇所が継続的に発生している。一方で、物価上昇の影響により維持管理のための必要経費が増加していくことが課題となっている。										
(2)活動上の実績										
①実施出来たこと(活動実績)とその理由										
○ 健康診断の実施、施設設備の検査点検・修繕、環境衛生を保つための資材の購入、熱中症対策ための備品購入等を行い、児童が安全に学べる学校環境の整備を行った。										
②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由										
○ 学校施設全体の経年劣化が進行している。また、感染症対策や暑熱対策等、求められる安全管理業務が多様化している。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
20-5-5-1	太陽光発電売電料				17,709	14,889	1 報酬	779,400	755,100	
20-5-5-1	日本スポーツ振興センター掛金受入金				180,780	173,880	10 需用費	25,051,578	21,613,720	
21-1-6-1	小学校管理事業債(公共施設等適正管理推進事業債)				0	1,800,000	11 役務費	2,168,574	2,103,146	
							12 委託料	7,574,459	8,020,928	
							13 使用料及び賃借料	1,746,221	1,085,918	
							15 原材料費	74,070	20,590	
							17 備品購入費	1,095,204	2,250,400	
	一般財源				38,693,257	34,242,558	18 負担金補助及び交付金	402,240	381,525	
	計				38,891,746	36,231,327	計	38,891,746	36,231,327	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		地域・家庭からの要望も踏まえた上で、児童・教職員の安心安全な教育環境整備の継続に努め、重大事故等が発生しない信頼される学校づくりの具現化を図っていく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	法定健診等の確実な実施、施設設備の修繕等、安心安全に学べる教育環境の整備という視点で重要度や緊急性を考慮し、計画的に予算要求・執行する。								
	解決すべき課題への方策	整備不良箇所の児童への身体的・心理的影響、安全性の確保や使用頻度、職員の業務負担軽減等を考慮し、優先順位をつけて順次施設設備の修繕・工事等を行っていく。								

事業名	1-1	小学校管理費	所属名	総務・学校教育課
【決算の状況】（計画）（実績） 会見小学校・会見第二小学校・西伯小学校				
単位:円				
細節	予算額	決算額	内 容	
非常勤等報酬	766,000	755,100	内科医177,800円 歯科医177,800円 眼科医147,800円 耳鼻科医147,800円 薬剤師103,900円	
消耗品費	3,600,000	3,590,287	一般事務用641,929円 管理用349,731円 資料用4,500円 コピー904,200円 清掃用201,619円 給食用138,492円 保健用260,994円 感染症対策用124,479円 コンピュータ508,655円 芝生用356,688円 消火器整備99,000円	
燃料費	282,000	244,534	ガス117,180円 ガソリン51,190円 灯油76,164円	
食糧費	9,000	5,891	来客用茶5,891円	
印刷製本費	25,000	16,665	卒業証書211枚16,665円	
光熱水費	13,300,600	12,222,119	電気10,557,469円 水道1,664,650円	
施設修繕料	3,924,200	3,854,340	小学校屋外遊具塗装修繕工事 715,000円 (会小)前校舎3階男子トイレ窓ガラス修理52,250円 体育館入口扉修繕工事715,000円 消火栓水槽自動給水装置取替修理85,300円 教室棟汚水枥バキューム及び配管修理98,670円 他 (二小)床下白蟻駆除・修繕工事355,300円 職員室ドア修繕134,200円 他 (西小)給食センター搬入通路修繕工事979,000円 エアコン室外機修理149,600円 防火・排煙設備整備 343,200円 他	
備品修繕料	700,000	652,520	芝刈機、クロームブック修繕 ガスコンロ取替652,520円	
医薬材料費	1,028,000	1,027,364	保健室医薬品247,189円 プール医薬品780,175円	
通信運搬費	882,000	837,333	電話711,759円 公用携帯59,542円 非常通報43,421円 郵券22,611円	
手数料	656,000	597,230	クリーニング67,110円 ピアノ調律76,670円 飲料水検査6,050円 プール水質検査99,110円 裁断機刃研ぎ11,440円 ミシン点検28,000円 オージオメータ点検校正49,500円 浄化槽法定検査5,200円 ホース耐圧試験23,100円 簡易専用水道検査19,250円 特定計量器検査手数料7,200円 産業廃棄物処理料178,750円 大型モニター処分料25,850円	
火災保険料	669,000	668,583	建物災害共済委託分担金668,583円	
保守点検委託料	4,960,995	4,904,302	電気管理455,000円(前田電気管理事務所) 消防設備点検522,500円(上田商事) 教職員パソコン保守159,060円×12月＝1,908,720円(ケイズ) エレベータ保守点検316,800円(ジャパンエレベータ) 印刷機保守5,500円×12月×2校＝132,000円(はらぶん米子支店) 遊具点検68,860円(キララ・きっず) 空調設備保守点検761,618円(TBM) 非常・火災通報装置保守点検104,940円(テルウェル西日本) プールろ過機点検242,000円(モチダ) 貯水槽清掃殺菌衝動作業55,000円(サンクリーン) 浄化槽維持管理29,700円(みつわ環境開発) 芝刈機維持管理307,164円(三協建機)	
施設管理委託料	2,291,000	2,276,501	学校警備13,860円×12月×3校＝498,960円(北陽警備保障) 施設清掃603,240円(東亜建物管理) 庭木剪定等環境整備890,263円(南部広域シルバー人材センター) 防雪ネット設置・撤去70,088円(南部広域シルバー人材センター) 浄化槽清掃53,350円(みつわ衛生社) 西伯小樹木伐採撤去作業160,600円(西部森林組合)	
その他の委託料	1,204,005	840,125	児童健康診断306,625円(鳥取県保健事業団) 教職員健康診断440,000円(鳥取県保健事業団) ハチの巣駆除93,500円(サンクリーン)	
借上料	472,000	456,720	AED借上36,000円×3校＝106,920円 コピー機賃借660円×12月×2校＝15,840円 印刷機賃借11,000円×12月×2校＝250,800円 モップ賃借6,930円×12月＝83,160円	
使用料	1,009,000	629,198	NHK受信料3台49,104円 下水道使用料580,094円	
原材料費	80,000	20,590	砂場用砂 12,650円 校舎修理材料費7,940円	
備品購入費	2,250,400	2,250,400	(会小)気化熱冷風機616,000円 事務机136,400円 (二小)気化熱冷風機616,000円 ブックトラック66,000円 (西小)気化熱冷風機616,000円 防音カーテン200,000円	
その他負担金	415,000	381,525	日本スポーツ振興センター設置者負担分439名207,645円 日本スポーツ振興センター保護者負担分378名173,880円	
計	38,524,200	36,231,327		

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計				
事業名		1	小学校教育振興費						所属名	総務・学校教育課				
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	児童・教職員	総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等						名称	教育基本法				
									URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html				
									名称	学校教育法				
									URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/322AC0000000026				
	意図 (対象をどうするか)	教育目標の達成に向け、毎日の教育活動や各教科・領域の年間指導計画に基づく学習活動を推進している。	名称 学習指導要領 URL https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm						決算増減の理由		執行率の理由			
									R6年度に教科書全面改訂による教師用指導書等を購入したことによる消耗品費の減		非該当			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	学習指導の充実を図ることができる。児童の豊かな体験活動が図られる。児童が楽しく学べる学校となる。	前年度比較						前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減		
									25,133,753 円	14,843,823 円	△ 10,289,930 円	△ 40.9 %		
前年度予算額									本年度予算額	差 引	増 減	本年度執行率	93.0 %	
25,907 千円									15,954 千円	△ 9,953 千円	△ 38.4 %			

【事業内容】

○ 教育活動を充実させるために外部講師を招聘する。

○ 授業、指導、学校行事等に必要な教材を把握し、効果的な教授活動を行うため物品の計画的な購入を行う。

○ いじめ・不登校の未然防止・早期発見による望ましい人間関係づくりに生かすため、QUテストを実施する。

○ 児童理解につながる情報収集と分析のための学力調査、知能検査を行う。

○ 児童を対象とした芸術文化事業を委託する。

○ 校外学習、授業や行事で児童を輸送するためのバスの手配を行う。

○ 学校徴収金の安全管理及び適正管理を行う。

○ 1,3,5年(転入含む)の黄色い帽子、1年(転入含む)のレインコート購入を助成をする。

○ 中国大会、全国大会派遣に係る経費を補助する。

■ [南部町立小・中学校管理規則](#)

■ [南部町小学校大会派遣等補助金交付要綱](#)

■ WEBQU
不登校やいじめ防止、対人関係能力の育成に向けたより良い学校生活と友だちづくりのためのアンケート

■ コグトレオンライン
認知機能の強化、学力や生活全般の質、自己効力感の向上として通級指導教室で活用

■ 標準学力調査
学力の状況を診断し、指導改善にいかす調査

■ 学校評価

[西伯小](#)[会見小](#)[会見第二小](#)

【決算の状況】

(計画) (実績)

詳細は次ページに掲載

(歳入内訳 単位:円)				(歳出内訳 単位:円)			
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
18-2-4-1	さくら基金繰入金	9,401,845	0	7 報償費	727,082	479,774	
				8 旅費	106,510	61,240	
				10 需用費	15,708,097	6,296,209	
				11 役務費	17,445	19,037	
				12 委託料	1,830,198	1,843,079	
				13 使用料及び賃借料	2,374,530	2,032,400	
				15 原材料費	141,330	130,746	
				17 備品購入費	3,326,699	2,454,697	
	一般財源	15,731,908	14,843,823	18 負担金補助及び交付金	901,862	1,526,641	
	計	25,133,753	14,843,823	計	25,133,753	14,843,823	

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	個別最適な学び・協同的な学びの実現を通して児童の主体性を伸ばし、より一層の学力向上を目指すとともに、学校の魅力を高め、児童がさらに「学校が楽しい」と感じられるよう、創意工夫のある効果的な予算執行を行っていく。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	各種検査等の結果をもとに児童の発達段階や個々の特性を十分に考慮した学校運営・学級経営を継続する。また、年間指導計画に基づいて効果的な外部人材活用・体験的学習の充実を図るとともに、教材・教具の点検・把握・情報共有を行い、必要に応じて迅速な整備に努める。
	解決すべき課題への方策	各学校の実情や児童の実態に応じた学習活動や体験活動を充実させ、児童の主体的・協同的な学びを人的・物的環境面から支えるために必要な経費を確保し、学力向上・不登校の減少に向けた取組を継続する。

事業名	1	小学校教育振興費	所属名	総務・学校教育課
【決算の状況】（計画）（実績） 会見小学校・会見第二小学校・西伯小学校				
			単位:円	
細節	予算額	決算額	内 容	
報償費	678,000	479,774	卒業記念品74名139,194円 ブラッシング指導70,000円 性教育70,000円 歯科指導20,000円 人権教育40,000円 大山登山ガイド21,000円 平和学習講師5,000円 読み聞かせ14,080円 協働学習100,500円	
普通旅費	96,000	61,240	人権教育講師27,420円 協働学習講師33,820円	
消耗品費	6,000,000	5,848,289	教育事務用1,562,658円 教科用1,292,283円 学級経営244,440円 1～3年教材費2,503,697円(1年633,764円2年733,574円3年948,918円 特別支援187,441円) 教師用教科書、指導書245,211円	
印刷製本費	399,000	398,970	会小卒業文集133,100円 西小卒業文集125,510円 二小全校文集140,360円	
備品修繕費	100,000	48,950	楽器修繕48,950円	
手数料	38,000	19,037	インターネットバンキング手数料17,717円 金融機関振込手数料1,320円	
その他の委託料	2,099,000	1,843,079	知能検査1・3・5年213名×490円＝104,370円(クリエート上野) WEBQU2回439名×825円＝362,175円(NTTコミュニケーションズ) 標準学力調査2回2,568名×328円×10％＝926,534円(東京書籍) 児童生徒を対象とした文化芸術事業(西伯小) 450,000円	
借上料	2,152,584	1,955,800	貸切バス借上 校外学習1,955,800円	
使用料	95,000	76,600	コグトレオンライン使用料20名×1,320円＝26,400円 花回廊入園料50名×190円＝9,500円 インターネットバンキング使用料 3金融機関＝40,700円	
原材料費	195,000	130,746	教科用(図工、家庭、理科)130,746円	
備品購入費	2,519,000	2,454,697	(会小)ミシン42,460円 回転脚付きホワイトボード95,260円 実物投影機154,000円 児童用図書460,130円 フィルムコート装備5,808円 職員図書4,895円 (二小) 児童用図書394,559円 フィルムコート装備5,038円 職員図書18,920円 (西小)カラーマット73,700円 エレクトーン242,000円 児童用図書938,985円 フィルムコート装備10,076円 職員図書8,866円	
その他負担金	235,000	181,487	西伯郡学校保健会負担金439名×15円＝6,585円 学校図書館協議会負担金3校×1,500円＝4,500円 修学旅行引率経費6名×2,985円＝17,910円 修学旅行引率経費6名×2,667円＝16,002円 修学旅行キャンセル保障保険料84名×910円＝76,440円 金管クラブ負担金・参加費6,500円 黄色い帽子・レインコート購入助成53,550円(帽子36名、レインコート21名)	
その他補助金	1,347,416	1,345,154	マーチングバンド全国大会補助金1,345,154円(26名参加)	
計	15,954,000	14,843,823		
児童用図書購入				
	会小	二小	西小	
購入冊数	274 冊	227 冊	507 冊	
購入金額	460,130 円	394,559 円	938,985 円	
図書蔵書率	230 %	160 %	169 %	
(1)成果上の実績				
①達成出来たこと(成果実績)とその理由				
○ 各教科・領域、学校行事等において、外部人材の活用、体験的な学びの場の構築、教材・教具の整備により、学習指導・生徒指導の充実が図られ、「学校が楽しいと感じる児童」「学習に意欲的に取り組む児童」が増加した。				
②達成出来なかったこと(問題)とその理由				
○ 不登校の児童、また不登校傾向のある児童に対して個別に支援をしているが、学力保障等の取組をさらに充実させる必要がある。				
(2)活動上の実績				
①実施出来たこと(活動実績)とその理由				
○ QUテストをもとに学校運営、学級経営を見直したことにより、学級満足群が全国平均の上回り、不登校児童数が減少した。				
○ 学校行事や文化芸術事業、総合的な学習、人権学習、平和学習等、それぞれの分野の外部講師を招聘することにより、児童の心に響く学習活動を展開することができた。				
②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由				
○ 知能検査、学力調査等により児童の実態に応じた授業改善の取組を行ったが、算数の学力向上に課題が残る。				

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名		2	地域とともに歩む学校づくり推進事業(小学校)						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	児童・教職員	総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等							
	意図 (対象をどうするか)	地域学校協働活動推進員の配置等により、地域ぐるみで子どもを育む仕組みを整えることでめざす子ども像に近づいている。	名称	教育基本法						
			URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	中学校区ごとのめざす子ども像の実現に向け、地域と学校が協働した教育活動の推進や支援を展開することにより、地域とともに歩む学校づくりが進んでいる。	名称	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領						
			URL	https://manabi-mirai.mext.go.jp/upload/01youryou.pdf						
			決算増減の理由			執行率の理由				
			児童活動支援謝金が減少したことによる報償費の減			非該当				
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		87.5 %			
	1,076,607 円	668,460 円	△ 408,147 円	△ 37.9 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	1,457 千円	764 千円	△ 693 千円	△ 47.6 %						
【事業内容】										
○ 地域学校協働活動推進員を配置するとともに、協働活動を円滑に実施するための環境を整える。										
○ 児童を対象にした学力補充の場を設定し、学力の底上げを図るとともに児童の学びをより豊かにする。 (学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金の活用 補助率 国1/3・県1/3・町1/3)										
■ 鳥取県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱 ■ 南部町学校運営協議会設置要綱										
【決算の状況】										
(計画) (実績)										
詳細は次ページに掲載										
(1)成果上の実績										
①達成出来たこと(成果実績)とその理由										
○ 地域人材の積極的活用、計画的な教育活動の実施によって地域の多様な大人と日常的に関わることで、多様な価値観に触れ、コミュニケーション能力や社会性を体験を通して身に付ける場となった。また、地の歴史や文化、産業を学びながら「地域 に支えられている」という実感が湧き、自分の地域に対する誇りや愛着を育むことにつながった。										
②達成出来なかったこと(問題)とその理由										
○ 協力してくださる地域人材が固定化しやすく、広がりにくい。めざす子ども像の実現に向けた学校と地域、家庭とのより一層の連携強化が必要である。										
(2)活動上の実績										
①実施出来たこと(活動実績)とその理由										
○ 地域人材を授業に招く際の連絡調整、事前の打ち合わせなどの窓口業務を推進員が担い、教員の多忙化解消につながるとともに、地域の多様な人材を授業や行事に組み込むことができ、授業の質が豊かになった。										
○ まち未来科や総合的な学習の時間、生活科や家庭科の学習などに学習ボランティアを招くことで、学習支援を充実させることができた。										
②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由										
○ かけ算九九の聞き取りや暗唱の聞き取りなど、つけたい力を確実に身に付けさせるための学習活動に地域人材の力を生かせるよう、人材活用の幅を広げたい。										
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)					
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
15-2-6-1	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金				708,000		7 報償費	994,120	570,840	
							10 需用費	29,109	45,320	
							11 役務費	53,378	52,300	
	一般財源				368,607	668,460				
	計				1,076,607	668,460	計	1,076,607	668,460	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		学校・児童・地域・保護者・CS同士の連携をさらに進め、保小中連携の視点を持った活動を行うための仕組みを整え、「ふるさとを愛し、将来、豊かなふるさとづくりを担う子ども」を育てるための活動の充実を図る。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	学校のニーズと地域の教育資源を通切にマッチングさせ、教職員の負担軽減(働き方改革)を図りつつ、地域住民の『生きがい』や『活躍の場』を創出する。双方向のメリットを生み出すことで、持続可能な地域学校協働活動を展開し、学校と地域が一体となって『めざす子ども像』の実現を図っていく。								
	解決すべき課題への方策		CS委員をはじめ多様な地域人材に積極的に授業を参観いただき、めざす子ども像を共有しつつ、学力向上も視野に入れ、中学校区CSの組織が小中連携を意識して実働に向かうことができるようにする。							

事業名	2	地域とともに歩む学校づくり推進事業(小学校)	所属名	総務・学校教育課
【決算の状況】（計画）（実績）①成果実績または活動実績				
会見小学校・会見第二小学校・西伯小学校			単位:円	
細節	予算額	決算額	内 容	
報償費	659,000	570,840	地域学校協働活動推進員4名 158.5時間×1,280円＝202,880円 児童活動支援 105時間×1,000円＝105,000円 金管指導3名 119.5時間×1,280円＝152,960円 スキー教室 9名×5,000円＝45,000円 学習講師 13名×5,000円＝65,000円	
消耗品費	45,000	44,440	ファイル2,930円 2年生生活科野菜苗12,875円 テプラテープ1,859円 ボードマーカー2,780円 封筒10,590円 ケーブル1,180円 用紙代5,997円 キャッシュケース 2,475円 ふせん1,954円 修正テープ1,800円	
燃料費	5,000	880	混合油 880円	
通信運搬費	10,000	8,200	郵券 8,200円	
その他の保険料	45,000	44,100	ボランティア保険 126名分 44,100円	
計	764,000	668,460		
○主な活動内容				
・ 中学校区CSグランドデザインに基づき、コミュニティ・スクールの充実を図った。 ・ 地域学校協働活動推進員の配置により、教育活動支援に地域の人材を活用することができ、児童が安心して学習することができた。また、地域の方々と交流も図ることができ、児童のふるさとを愛する心を育むことができた。 ・ 「まち未来科」の授業や金管バンド、スキー教室の指導に専門的な指導者を招くことにより、学びの質や児童の技術の向上を図ることができた。				
(会小)				
米・野菜・富有柿栽培の農業体験等の学習支援、学校行事・校外学習等児童学習支援、金管クラブ・邦楽体験教室・スキー教室の指導等				
(二小)				
ハッピーアイディアタイム活動、そば種まき、そば打ち、山菜採り遠足、つり遠足、スキー教室の指導等				
(西小)				
苗植え・田植え・稲刈り・芋ほり・まなびウォーク・町探検等の校外学習支援、ミシン・かけ算・昔遊び・なんぶっ子塾等の学習支援、草取り・芝刈り等の環境整備、「まち未来科」講師、金管クラブ指導、邦楽体験教室等				
・ 金管バンドは第53回マーチングバンド全国大会出場を果たした。 ・ 「なんぶっ子塾」の指導者(のべ55名)により、児童の個別指導ができ、基礎学力の定着を図ることができた。 ・ 学校HPでコミュニティ・スクールのブログを立ち上げるなど活動の情報発信、充実を図ることができた。				
■ハッピーアイディアタイム				
子どもたちの主体性を育てることを目的とし、週1回全学年が一緒に活動。				
■中学校区CSグランドデザイン				
法勝寺中学校区CSグランドデザイン 南部中学校区CSグランドデザイン				

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名		3	通学定期券助成事業(小学校)						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	公共交通機関により遠距離通学をする対象集落の児童および保護者	総合計画における位置づけ							
			⑧こどもが健やかに育つまちづくり							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			②教育に挑戦(子育て・教育のまち)							
	意図 (対象をどうするか)	児童の安心安全な通学環境を確保するとともに、保護者の負担軽減を図り、円滑な就学が行われるようにする。	根拠法令・要綱等							
			名称	南部町立小学校及び中学校の遠距離通学児童生徒通学費助成要綱						
			URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000611.html						
			名称							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	対象児童のすべてに確実に行き渡るよう支給することにより、児童の安心安全な通学と学業の専念及び保護者の負担軽減となっている。	URL							
決算増減の理由				執行率の理由						
非該当				非該当						
前年度比較		本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率92.2 %					
	5,343,220 円	4,472,900 円	△ 870,320 円	△ 16.3 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	5,349 千円	4,853 千円	△ 496 千円	△ 9.3 %						

【事業内容】

○公共交通機関により、遠距離通学をする対象集落の児童を対象に、通学定期券を支給する。
○町が学期ごとに通学定期券を購入し、学校を通じて支給する。

【決算の状況】

【計画】					【実績】			
	利用バス	見込人数 (名)	期間 (月)	金額 (円)	利用バス	利用人数 (名)	期間 (月)	金額 (円)
西伯小学校	日ノ丸自動車	80	11	3,728,970	日ノ丸自動車	76	11	3,499,400
	JTP	32	〃	528,000	JTP	32	〃	528,000
	日本海観光	13	〃	214,500	日本海観光	13	〃	214,500
会見小学校	JTP	3	〃	49,500	JTP	3	〃	49,500
	日本海観光	1	〃	16,500	日本海観光	1	〃	16,500
会見第二小学校	JTP	7	〃	115,500	JTP	9	〃	148,500
	日本海観光	1	〃	16,500	日本海観光	1	〃	16,500
転入者想定	-	3	-	182,880	4,472,900 円			

○ [バス通学対象集落](#) 4,852,350 円

(1)成果上の実績

①達成出来たこと(成果実績)とその理由

利用人数を把握してすべての対象者に確実に発行をすることができたことで、児童生徒の安心安全な通学環境が確保できた。

②達成出来なかったこと(問題)とその理由

引き続き適切な発行に努め、安心安全な通学と保護者の負担軽減に努める。

(2)活動上の実績

①実施出来たこと(活動実績)とその理由

発行に至るまで、滞りなく執行することができた。

②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由

近年の気象状況等を踏まえ、対象範囲の検討を随時行う。

(歳入内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				11 役務費	5,343,220	4,472,900
	一般財源	5,343,220	4,472,900			
	計	5,343,220	4,472,900	計	5,343,220	4,472,900

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

今後も引き続き、支援の対象児童に、定期乗車券または回数券を支給し、安心安全な通学となるよう継続して支援する。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成出来た点をさらに伸ばす方策	定期乗車券、回数券の支給を適切に実施し、今後も保護者の負担軽減を図り、円滑な就学につなげる。
解決すべき課題への方策	児童の登下校に合わせた運行時刻や、他の乗客との兼ね合い、冬季の運行形態等について、引き続き関係機関と調整を図っていく。

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	1	学校管理費	会計名	一般会計
事業名		1-1	中学校管理費						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	南部中学校・法勝寺中学校						総合計画における位置づけ		
								④心豊かな自律した子どもの育成		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)		
	意図 (対象をどうするか)	施設設備の維持管理、校内教育環境を整え、生徒が健全で安全に学ぶことができるようにしている。						根拠法令・要綱等		
								名称	教育基本法	
								URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html	
								名称	学校教育法	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	生徒の安心安全な学校生活が確保され、地域や保護者から信頼される学校づくりを展開していく。						URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/322AC00000000026	
								名称	学習指導要領	
URL								https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm		
決算増減の理由								執行率の理由		
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	非該当		非該当		
		29,125,581 円	28,711,779 円	△ 413,802 円	△ 1.4 %					
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減					
		32,574 千円	31,198 千円	△ 1,376 千円	△ 4.2 %					
		本年度執行率	92.0 %							
【事業内容】										
○ 学校施設設備の維持管理を行う。										
○ 生徒・教職員の学校生活と学校運営管理に必要な物品を購入する。										
○ 生徒・教職員の健康と安全のための事業を行う。										
○ 生徒用・教職員用のタブレット、パソコン、周辺機器及び校内ネットワーク設備の維持管理を行う。										
■ 南部町立小・中学校管理規則										
【決算の状況】										
(計画) (実績)										
詳細は次ページに掲載										
(1)成果上の実績										
①達成出来たこと(成果実績)とその理由										
○ 各種保守点検の適切な実施、計画的な維持管理を通して重大な設備事故等の未然防止に努め、安心安全な教育環境の整備を行った。安心して通える学校の運営・管理に努め、重大事故や大規模感染等の発生を防いだ。										
②達成出来なかったこと(問題)とその理由										
○ 修繕および設備更新を必要とする箇所が継続的に発生している。一方で、物価上昇の影響により維持管理のための必要経費が増加していくことが課題となっている。										
(2)活動上の実績										
①実施出来たこと(活動実績)とその理由										
○ 健康診断の実施、施設設備の検査点検・修繕、環境衛生を保つための資材の購入、熱中症対策ための備品購入等を行い、生徒が安全に学べる学校環境の整備を行った。										
②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由										
○ 学校施設全体の経年劣化が進行している。また、感染症対策や暑熱対策等、求められる安全管理業務が多様化している。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
17-1-3-1	企業版ふるさと納税				150,000	0	1 報酬	478,500	466,800	
20-5-5-1	スポーツ振興センター掛金受入金				101,660	95,220	10 需用費	16,994,201	16,939,303	
21-1-6-1	中学校管理費事業債(公共施設等適正管理推進事業債)				2,600,000	2,100,000	11 役務費	1,416,966	1,415,959	
							12 委託料	5,441,535	6,012,906	
							13 使用料及び賃借料	1,031,804	834,960	
							14 工事請負費	2,079,000	1,243,000	
							15 原材料費	68,965	68,031	
							17 備品購入費	1,386,580	1,515,900	
	一般財源				26,273,921	26,516,559	18 負担金補助及び交付金	228,030	214,920	
	計				29,125,581	28,711,779	計	29,125,581	28,711,779	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		地域・家庭からの要望も踏まえた上で、生徒・教職員の安心安全な教育環境整備の継続に努め、重大事故等が発生しない信頼される学校づくりの具現化を図っていく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		法定健診等の確実な実施、施設設備の修繕等、安心安全に学べる教育環境の整備という視点で重要度や緊急性を考慮し、計画的に予算要求・執行する。							
	解決すべき課題への方策		整備不良箇所の生徒への身体的・心理的影響、安全性の確保や使用頻度、職員の業務負担軽減等を考慮し、優先順位をつけて順次施設設備の修繕・工事等を行っていく。							

事業名	1-1	中学校管理費	所属名	総務・学校教育課
【決算の状況】 (計画) (実績) 南部中学校・法勝寺中学校 単位:円				
細節	予算額	決算額	内 容	
非常勤等報酬	475,000	466,800	内科医110,400円 歯科医110,400円 眼科医90,400円 耳鼻科医90,400円 薬剤師65,200円	
消耗品費	2,900,000	2,899,953	一般事務用753,654円 管理用344,348円 資料用31,860円 コピー583,872円 清掃用128,013円 給食用75,338円 保健用259,661円 感染症対策用44,707円 コンピュータ用678,500円	
燃料費	217,000	154,922	ガス代124,236円 灯油26,462円 ガソリン1,016円 軽油3,208円	
食糧費	6,000	5,181	来客用茶 5,181円	
印刷製本費	37,000	34,550	卒業証書211枚18,150円 卒業アルバム16,400円	
光熱水費	10,600,000	8,841,140	電気8,515,740円 水道325,400円	
施設修繕料	4,629,000	4,601,906	(南中) 渡り廊下雨水排水管修繕110,000円 音楽室雨漏り改修工事165,000円 理科室引き戸ドア修繕313,500円 体育館屋上スピーカー固定97,900円 エアコン室外機修繕60,500円 体育館器具庫ドア修繕74,800円 体育館軒天修繕77,000円 放送設備修繕76,560円 他 (法中) カーテン取替476,080円 校舎雨漏り改修工事1,342,000円 教室換気扇取替465,850円 体育館ドア修繕270,600円 サッシ取替86,350円 倉庫撤去・新設工事473,924円 他	
備品修繕料	340,000	311,190	クロームブック、コードリール修繕311,190円	
医薬材料費	91,000	90,461	保健室医薬品90,461円	
通信運搬費	579,000	556,916	電話461,338円 公用携帯40,326円 非常通報31,677円 郵券23,575円	
手数料	501,000	469,900	クリーニング44,290円 ピアノ調律44,110円 飲料水検査11,550円 裁断機刃研ぎ11,440円 特定計量器定期検査4,100円 オージオメータ点検校正49,500円 浄化槽法定検査16,600円 ホース耐圧試験11,550円 産業廃棄物処理料261,250円 家電品処分料15,510円	
火災保険料	390,000	389,143	建物災害共済委託分担金339,143円	
保守点検委託料	3,798,000	3,670,642	電気管理300,000円(前田電気管理事務所) 消防設備点検349,800円(上田商事) 教職員パソコン保守106,040円×12月＝1,272,480円(ケイズ) エレベータ保守点検11,000円×12月×2校＝264,000円(ジャパンエレベータ) 印刷機保守5,500×12月×2校＝132,000円(はらぶん米子支店) 遊具点検25,520円(キララ・きっず) 空調設備保守点検545,182円(TBM) 非常・火災通報装置保守点検69,960円(テルウェル西日本) 貯水槽清掃・水質検査・消火槽清掃71,500円(サンクリーン) 浄化槽点検業務640,200円(みつわ環境開発)	
施設管理委託料	1,838,000	1,817,289	学校警備13,860円×12月×2校＝332,640 円(北陽警備保障) 施設清掃498,410円(東亜建物管理) 危険木対策73,700円(西部森林組合) 庭木剪定等環境整備557,459円(南部広域シルバー人材センター) 浄化槽清掃190,080円(みつわ衛生社) 雨樋清掃165,000円(みつわビル管理)	
その他の委託料	794,100	524,975	生徒健康診断243,375円(鳥取県保健事業団) 教職員健康診断281,600円(鳥取県保健事業団)	
借上料	690,000	663,009	AED借上36,000円×2校＝71,280円 コピー機賃借660円×12月×1校＝7,920円 印刷機賃借11,000円×12月×2校＝250,800円 学校主事自家用車借上6,064円 敷地借地料326,945円	
使用料	237,000	171,951	NHK受信料2台30,690円 下水道使用料141,261円	
工事請負費	1,243,000	1,243,000	法勝寺中テニスコート整備工事1,243,000円	
原材料費	77,000	68,031	真砂土、校舎修理材料68,031円	
備品購入費	1,515,900	1,515,900	(南中) 気化熱冷風機616,000円 ホワイトボード47,520円 アップライトピアノキャスター107,250円 (法中) 気化熱冷風機616,000円 OAチェア2脚31,130円 シュレッダー98,000円	
その他負担金	240,000	214,920	日本スポーツ振興センター設置者負担分252名119,240円 日本スポーツ振興センター保護者負担分208名95,680円	
計	31,198,000	28,711,779		

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名		1	中学校教育振興費						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	生徒・教職員	総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等							
	意図 (対象をどうするか)	教育目標の達成に向け、毎日の教育活動や各教科・領域の年間指導計画に基づく学習活動を推進している。	名称		教育基本法					
			URL		https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html					
			名称		学校教育法					
			URL		https://laws.e-gov.go.jp/law/322AC00000000026					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	学習指導の充実や生徒の豊かな体験活動の充実が図られ、生徒が楽しく学べる学校となる。	名称		学習指導要領					
			URL		https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm					
決算増減の理由			執行率の理由							
非該当			非該当							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		91.9 %			
	14,849,488 円	18,433,849 円	3,584,361 円	24.1 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	18,122 千円	20,058 千円	1,936 千円	10.7 %						
【事業内容】 ○ 教育活動を充実させるために外部講師を招聘する。 ○ 授業、指導、学校行事等に必要な教材を把握し、効果的な教授活動を行うため物品の計画的な購入を行う。 ○ いじめ・不登校の未然防止・早期発見による望ましい人間関係づくりに生かすため、QUテストを実施する。 ○ 生徒理解につながる情報収集と分析のための学力調査、知能検査を行う。 ○ 生徒を対象とした芸術文化事業を委託する。 ○ 校外学習や対外試合等、授業や行事で生徒を輸送するためのバスの手配を行う。 ○ 部活動に係る必要な経費(登録料・参加料・用具代等)を助成する。 ○ 1年(転入含む)のヘルメット購入を助成をする。 ○ 中国大会、全国大会派遣に係る経費を補助する。 ■ 南部町立小・中学校管理規則 ■ 南部町中学校部活動大会派遣等補助金交付要綱 【決算の状況】 (計画) (実績) 詳細は次ページに掲載 (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ○ 計画的に実施したことで各教育目標の達成に寄与した。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ○ 教育活動の多様化に伴い、教材整備、校外活動及び部活動支援等に係る経費が増加している。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 教育課程、学校行事計画に基づき、必要な整備及び支援を計画的に実施した。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ 教育内容の多様化に伴うICT活用や個別支援等、教育ニーズの拡大、また、今後、教材等の価格上昇及び継続的な更新需要があるため、需用費、使用料及び賃借料、備品購入費の確保が課題となる。										
(歳入内訳 単位:円)										

事業名	1	中学校教育振興費	所属名	総務・学校教育課
【決算の状況】（計画）（実績）				
南部中学校・法勝寺中学校			単位:円	
細節	予算額	決算額	内 容	
報償費	361,000	308,160	卒業記念品80名160,160円 校内研究会謝金78,000円 ブラッシング指導謝金10,000円 性教育講演会謝金20,000円 人権教育講演謝金等40,000円	
普通旅費	69,000	22,680	校内研究会講師旅費22,680円	
消耗品費	7,200,000	7,199,946	教育事務用1,023,419円 教科用681,788円 教師用教科書・指導書5,202,508円	
備品修繕費	200,000	179,090	楽器修理177,110円 ストップウォッチ電池交換1,980円	
通信運搬費	231,000	158,400	楽器運搬158,400円	
手数料	11,000	8,333	金融機関振込手数料8,333円	
その他の保険料	36,000	33,330	2年職場体験保険料93名4日分33,300円	
その他の委託料	1,999,850	1,374,887	知能検査1年76名×490円＝37,240円(クリエート上野) WEBQU2回252名×825円＝207,900円(NTTコミュニケーションズ) 標準学力調査2回1884名×328円×10%＝679,747円(東京書籍)	
借上料	4,714,000	4,468,787	貸切バス借上(校外学習662,200円 部活動3,806,587円)	
使用料	329,000	257,613	しあわせプール使用料332名×310円＝102,920円 文化祭用舞台資材使用料23,485円	
原材料費	167,000	167,000	教科用(美術、家庭、技術、理科)167,000円	
備品購入費	2,043,000	2,004,985	(南中)ライン引き38,280円 生物顕微鏡189,200円 双眼実体顕微鏡59,400円 電流磁界観察器105,600円 生徒用図書617,374円 フィルムコート装備6,754円 職員図書11,660円 (法中)ポータブルワイヤレスアンプ188,100円 デジタル握力計26,675円 生徒用図書733,991円 フィルムコート装備7,986円 職員図書19,965円	
その他負担金	1,308,000	1,003,327	英語弁論参加2名6,000円 部活登録料・参加料助成277,850円 部活動応援金309,973円 修学旅行引率経費5名×15,644円＝78,220円 修学旅行引率経費6名×14,509円＝87,054円 修学旅行キャンセル保障保険料89名×1,320円＝117,480円 ヘルメット購入助成65名×1,950円＝126,750円	
その他の補助金	1,389,150	1,247,311	部活動大会派遣費等補助金1,247,311円	
計	20,058,000	18,433,849		
生徒用図書購入				
	南中	法中		
購入冊数	311 冊	373 冊		
購入金額	617,374 円	733,991 円		
図書蔵書率	161.2 %	102.7 %		
■WEBQU				
不登校やいじめ防止、対人関係能力の育成に向けたより良い学校生活と友だちづくりのためのアンケート				
■標準学力調査				
学力の状況を診断し、指導改善にいかす調査				
■学校評価				
法勝寺中 南部中				

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名		2	地域とともに歩む学校づくり推進事業(中学校)						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	生徒・教職員	総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等							
	意図 (対象をどうするか)	地域学校協働活動推進員の配置等により、地域ぐるみで子どもを育む仕組みを整えることでめざす子ども像に近づいている。	名称 教育基本法 URL https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html 名称 学校教育法 URL https://laws.e-gov.go.jp/law/322AC0000000026 名称 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領 URL https://manabi-mirai.mext.go.jp/upload/01youryou.pdf							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	中学校区ごとのめざす子ども像の実現に向け、地域と学校が協働した教育活動の推進や支援を展開することにより、地域とともに歩む学校づくりが進んでいる。	決算増減の理由		執行率の理由					
			非該当		非該当					
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		80.3 %			
	380,926 円	300,468 円	△ 80,458 円	△ 21.1 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	452 千円	374 千円	△ 78 千円	△ 17.3 %						
【事業内容】 ○ 地域学校協働活動推進員を配置するとともに、協働活動を円滑に実施するための環境を整える。 ○ 基本的生活習慣の確立および学力の底上げを図るとともに生徒の学びをより豊かにする。 (学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金の活用 補助率 国1/3・県1/3・町1/3) ■ 鳥取県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱 ■ 南部町学校運営協議会設置要綱										
【決算の状況】 (計画) (実績) 詳細は次ページに掲載 (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ○ 地域学校協働活動推進員による発信、ネットワークによって教育支援活動に地域住民の参加があった。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ○ めざす子ども像の実現に向けた学校と地域、家庭の連携強化が必要である。より多くの人を巻き込んだ事業展開とならなかった。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ CS委員と教職員の交流の中で学校のニーズを新たに掘り起こし、新規の取り組みをすることができた。 ・ 新規事業 法勝寺中学校CSルームの設置 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ 事業そのものは実施できたが、学校の授業時間には仕事のある方の参加が難しく、人数の確保に至らないことが多かった。										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
15-2-6-1	学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金		243,000		7 報償費	351,530	273,880			
					10 需用費	15,284	14,708			
					11 役務費	14,112	11,880			
	一般財源		137,926	300,468						
	計		380,926	300,468	計	380,926	300,468			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		地域と学校の協働の視点を熟議をもとに、より明確にし、生徒の地域との関わりを教育活動を通して創出していく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	生徒自身が「町づくり」に関わっていることを強く認識できる学びを地域課題の解決という共通テーマのもとで地域との協働を図っていく。								
	解決すべき課題への方策	「目指す子ども像を実現するための取り組み・活動」から、地域課題を解決する過程を通して「資質・能力を育てる活動」へと発想を転換する。そのための課題把握や学びの場の設定を学校、地域が協働し行っていく。								

事業名	2	地域とともに歩む学校づくり推進事業(中学校)	所属名	総務・学校教育課
【決算の状況】（計画）（実績）①成果実績または活動実績				
南部中学校・法勝寺中学校			単位:円	
細節	予算額	決算額	内 容	
報償費	334,000	273,880	地域学校協働活動推進員2名 178.5時間×1,280円＝228,480円 生徒活動支援 20時間×1,000円＝20,000円 学習講師謝金 4名×5,000円＝20,000円 まち未来会議講師 4名×1,350円＝5,400円	
消耗品費	10,570	10,570	付箋、名札、ラベルシール、コピー用紙10,570円	
燃料費	8,430	4,138	混合油4,138円	
通信運搬費	7,000	4,180	郵券4,180円	
その他の保険料	14,000	7,700	ボランティア保険22名分×350円＝7,700円	
計	374,000	300,468		
○主な活動内容				
・ 中学校区CSグランドデザインに基づき、コミュニティ・スクールの充実を図った。				
・ 学校に1名の地域学校協働活動推進員を配置し、学校支援活動の活性化と充実が図られた。生徒と地域との交流活動や貢献活動を行う際の調整を行い、活動を通して地域への愛着や貢献しようとする生徒を育てることにつなげた。学習講師、ボランティア、活動支援者探しや日程の調整を行った。				
(法中)				
CHA ³ プログラム、あいさつ運動、掃除ボランティア、手話講座、学力向上、学校行事支援活動等				
(南中)				
まち未来会議、あいさつ運動、下校指導、グラウンド整備、ひまわりプロジェクト、郷土伝統芸能伝承学習、なんぶっ子塾等				
■CHA ³ プログラム				
主に鳥取県で実施されている、中学生向けのキャリア教育・進路学習プログラム。				
■中学校区CSグランドデザイン				
法勝寺中学校区CSグランドデザイン		南部中学校区CSグランドデザイン		

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名		3	部活動指導支援事業						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①生徒 ②教職員	総合計画における位置づけ							
			④心豊かな自律した子どもの育成							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			②教育に挑戦(子育て・教育のまち)							
			根拠法令・要綱等							
	意図 (対象をどうするか)	①部活動の地域展開に係る取組を推進することで、生徒が専門的な指導を継続して受けられる環境が整っている。 ②教職員の部活動顧問に伴う負担が軽減している。	名称	南部町部活動の地域移行のあり方に関する提言						
			URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/kyouikuinkai/n161/y152/						
			名称	南部町部活動指導員配置規則						
			URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000898.html						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	①令和8年度の「南部町型地域クラブ方式」への完全移行を見据え、生徒が主体的に活動を選択し、専門的指導を受けられる機会が将来にわたって確保される。 ②地域と学校が連携・協働する体制が構築されることで、教職員の働き方改革が促進される。	名称	鳥取県公立中学校等における部活動の地域展開・地域連携に向けた推進計画						
URL			https://www.pref.tottori.lg.jp/item/1333773.htm							
決算増減の理由			執行率の理由							
部活動の地域展開に向けた業務を委託したため。			非該当							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		85.9 %			
	1,342,720 円	9,974,895 円	8,632,175 円	642.9 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	1,733 千円	11,614 千円	9,881 千円	570.2 %						
【事業内容】										
南部町部活動の地域移行のあり方に関する提言 を踏まえ、R8年度に向けて部活動の地域展開を推進する。										
○ 部活動の地域展開の推進 …… クラブ活動への完全移行に向けた実証事業(サッカー・剣道のクラブ化)の実施 チーム立ち上げに必要な備品や練習環境の整備を行う										
○ 部活動の合同チーム・合同練習にかかる公用車運行										
○ 部活動指導体制の充実と強化 …… 中学校部活動へのクラブ指導員配置及び中国大会等のクラブ指導員の旅費										
【決算の状況】										
		(計画)	(実績)	単位:円						
細 節	予算額	決算額	内 容							
普通旅費	122,000	44,000	クラブ指導員旅費							
その他の委託料	8,402,000	6,994,895	部活動合同練習にかかる公用車運行269,100円(個人契約) 部活動地域移行業務委託6,725,795円(スポnetなんぶ) ・部活動コーディネーター2名配置 A:指導者確保、外部調整 2,015円×839.5時間÷1,692千円 B:事務、体制整備 月214,800円+通勤手当等 2,642千円 社会保険料等 377千円 ・手続きのDX化及び広報 パソコン・モニター 290千円 ホームページ改修 275千円 募集チラシ 88千円 謝金計算サービス等 71千円 ・指導者謝金(1時間1,380円) サッカー8名 790千円 剣道2名 501千円							
工事請負費	2,090,000	1,936,000	西伯小グラウンド照明設置工事1,936,000円							
その他補助金	1,000,000	1,000,000	地域クラブ立ち上げ費500,000円×2クラブ							
計	11,614,000	9,974,895								
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
14-2-5-1	地域クラブ活動への移行に向けた実証事業		0	4,212,593	8 旅費	0	44,000			
15-2-6-1	部活動地域移行推進事業補助金		503,360	0	12 委託料	1,342,720	6,994,895			
15-2-6-1	鳥取県地域クラブ立ち上げ支援事業補助金		0	300,000	14 工事請負費	0	1,936,000			
18-2-4-1	さくら基金繰入金		0	1,936,000	18 負担金補助及び交付金	0	1,000,000			
	一般財源		839,360	3,526,302						
	計		1,342,720	9,974,895	計	1,342,720	9,974,895			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		令和8年度の「南部町型地域クラブ方式」への完全移行を見据え、生徒の多様な活動機会の確保と教職員の働き方改革を両立するとともに、持続可能な運営体制を構築していく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	委託先との連携をさらに深め、実証事業の成果を施策に反映させることで、部活動地域展開がスムーズに進むよう制度面から支え、持続可能な地域クラブの運営基盤を強固にしていく。								
	解決すべき課題への方策	吹奏楽部など移行に課題がある部活動に対し、先行事例を参考に練習場所の確保や指導体制の検討を個別に行い、全町的な地域展開に向けた環境整備と合意形成を図る。								

事業名	3	部活動指導支援事業	所属名	総務・学校教育課
(1) 成果上の実績 ① 達成出来たこと(成果実績)とその理由 ○ スポnetなんぶへの実証事業委託を通じ、コーディネーター配置やICT活用による事務効率化によりサッカー・剣道の地域クラブ化を先行して実施したことで、令和8年度からの「南部町型地域クラブ」本格移行に向けた運営体制の基盤が構築できた。 ○ 先行2クラブへのチーム立ち上げ備品や練習場所環境の整備により、早期地域クラブ化を実現した。 ・ サッカーは3年生11人が抜けて、3人となったが、1年生が10人加入し、試合に参加できた。 ・ 剣道は1人から5人に増加した。 ○ クラブ指導員の配置や合同練習用公用車の運行により、生徒が専門的な指導を受けられる環境やチームで活動できる機会を確保したことで、中学校における部活動指導体制の充実と質の向上を達成した。 ○ 部活動の練習面において、クラブ指導員に専門的指導を任せることで専門外の教員の指導の負担が減った。 ② 達成出来なかったこと(問題)とその理由 ○ 吹奏楽部は専門性の高さや平日の練習時間帯が理由でクラブ指導員を配置できていない。また、楽器置き場、パート練習場所等の問題もあり両校に部活動として残っている。 ○ 2クラブの移行では、教員の1人当たりの平均時間外勤務の減少は(R6:1.4時間→R7:1.2時間)限定的であったことから令和8年度の状況を把握して改善を図る必要がある。 (2) 活動上の実績 ① 実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 令和8年に前倒してサッカーと剣道の地域クラブ化を実現 ・ コーディネータ2名体制による、クラブの運営体制構築と、R8に向けた地域クラブ化準備を推進した。 ・ 入会のWeb手続きや指導者謝金管理アプリの導入等手続きのDX化により指導者のスマートフォンから実績の入力が可能になった。 ・ サッカー8名、剣道2名の専門的な指導者確保した。 ・ 西伯小学校グラウンドにLED証明を4基設置し、夜間の練習が可能になった。 ・ クラブ立ち上げに必要な備品(ユニフォーム、防具、ボール等)の整備を補助した。 ○ クラブ指導員の配置及び、合同練習のための公用車を運行し、生徒の専門的、継続的な活動機会を確保した。 ・ 15名のクラブ指導員を学校部活動に配置し専門的な指導が可能となった。 (バスケットボール3名、バレーボール1名、陸上1名、ソフトテニス1名、野球1名、ソフトボール2名卓球5名、科学1名) ・ クラブ指導員の中国大会引率旅費 ソフトボール(広島県尾道市) 22,000円×2名＝44千円 ・ 合同練習のための公用車運行(個人契約) 270千円 実績2人195回 ② 実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ グラウンド照明は設置できたが、令和8年度の多くのクラブ化に備えて、必要な設備等を計画的に整備していく必要がある。 ○ 教職員の時間外勤務について、令和8年度以降の結果を注視しながら、学校業務への影響を考えてより実効性の高い負担軽減を図る必要がある。				

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計																																																																																															
事業名		4	通学定期券助成事業(中学校)						所属名	総務・学校教育課																																																																																															
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	公共交通機関により遠距離通学をする対象集落の生徒とその保護者				総合計画における位置づけ																																																																																																			
						⑧こどもが健やかに育つまちづくり 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等																																																																																																			
	意図 (対象をどうするか)	生徒の安心安全な通学環境を確保するとともに、保護者の負担軽減を図り、円滑な就学が行われるようにする。				名称	南部町立小学校及び中学校の遠距離通学児童生徒通学費助成要綱																																																																																																		
						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000611.html																																																																																																		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	対象生徒のすべてに確実に行き渡るよう支給することにより、生徒の安心安全な通学と学業の専念及び保護者の負担軽減となっている。				名称																																																																																																			
						URL																																																																																																			
						名称																																																																																																			
						URL																																																																																																			
							決算増減の理由		執行率の理由																																																																																																
							非該当		転入者がなく、不用額が生じたため																																																																																																
前年度比較	前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減																																																																																																		
	103,500 円		90,000 円		△ 13,500 円		△ 13.0 %																																																																																																		
	前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減		本年度執行率																																																																																																
	149 千円		144 千円		△ 5 千円		△ 3.4 %		62.5 %																																																																																																
【事業内容】 ○公共交通機関により、遠距離通学をする対象集落の生徒を対象に、通学定期券等を支給する。 ○町が通学定期券等を購入し、学校を通じて支給する。 【決算の状況】 <table><thead><tr><th colspan="5">【計画】</th><th colspan="4">【実績】</th></tr><tr><th></th><th>定期券 一月分</th><th>見込 (転入想定)</th><th>期間</th><th>金額</th><th>定期券 一月分</th><th>利用人数</th><th>期間</th><th>金額</th></tr></thead><tbody><tr><td>法勝寺中学校</td><td>1,500円</td><td>1(1)人</td><td>12ヶ月</td><td>36,000円</td><td>1,500円</td><td>1人</td><td>12ヶ月</td><td>18,000円</td></tr><tr><td>南部中学校</td><td>1,500円</td><td>4(2)人</td><td>12ヶ月</td><td>108,000円</td><td>1,500円</td><td>4人</td><td>12ヶ月</td><td>72,000円</td></tr></tbody></table> ○ バス通学対象集落 (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 利用人数を把握してすべての対象者に確実に発行したことで、生徒の安心安全な通学環境が確保できた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 引き続き適切な発行に努め、安心安全な通学と保護者の負担軽減に努める。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 通学の負担軽減を図るために、法勝寺中学校の期間を冬季限定から通年利用へと変更(南部中学校と同様の措置)し、生徒の安全・安心な通学手段を通年で確保した。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 転入者がいなかったため不用額が生じた。予算額と決算額に大幅な乖離が発生しないよう、転入想定者数を検討する。 (歳入内訳 単位:円) <table><thead><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11 役務費</td><td>103,500</td><td>90,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>103,500</td><td>90,000</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>103,500</td><td>90,000</td><td>計</td><td>103,500</td><td>90,000</td></tr></tbody></table> <table><tr><td rowspan="4">今後に向けて</td><td colspan="2">①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td colspan="2">今後も引き続き、支援の対象生徒に、定期乗車券または回数券を支給し、安心安全な通学となるよう継続して支援する。</td></tr><tr><td colspan="4">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成出来た点をさらに伸ばす方策</td><td colspan="3">定期乗車券、回数券の支給を適切に実施し、今後も保護者の負担軽減を図り、円滑な就学につなげる。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td colspan="3">生徒の登下校に合わせた運行時刻や、他の乗客との兼ね合い等について、引き続き関係機関と調整を図っていく。</td></tr></table>											【計画】					【実績】					定期券 一月分	見込 (転入想定)	期間	金額	定期券 一月分	利用人数	期間	金額	法勝寺中学校	1,500円	1(1)人	12ヶ月	36,000円	1,500円	1人	12ヶ月	18,000円	南部中学校	1,500円	4(2)人	12ヶ月	108,000円	1,500円	4人	12ヶ月	72,000円	款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額					11 役務費	103,500	90,000																一般財源	103,500	90,000					計	103,500	90,000	計	103,500	90,000	今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		今後も引き続き、支援の対象生徒に、定期乗車券または回数券を支給し、安心安全な通学となるよう継続して支援する。		②次年度へ向けた次への行動・具体策				達成出来た点をさらに伸ばす方策	定期乗車券、回数券の支給を適切に実施し、今後も保護者の負担軽減を図り、円滑な就学につなげる。			解決すべき課題への方策	生徒の登下校に合わせた運行時刻や、他の乗客との兼ね合い等について、引き続き関係機関と調整を図っていく。		
【計画】					【実績】																																																																																																				
	定期券 一月分	見込 (転入想定)	期間	金額	定期券 一月分	利用人数	期間	金額																																																																																																	
法勝寺中学校	1,500円	1(1)人	12ヶ月	36,000円	1,500円	1人	12ヶ月	18,000円																																																																																																	
南部中学校	1,500円	4(2)人	12ヶ月	108,000円	1,500円	4人	12ヶ月	72,000円																																																																																																	
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																			
				11 役務費	103,500	90,000																																																																																																			
	一般財源	103,500	90,000																																																																																																						
	計	103,500	90,000	計	103,500	90,000																																																																																																			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		今後も引き続き、支援の対象生徒に、定期乗車券または回数券を支給し、安心安全な通学となるよう継続して支援する。																																																																																																						
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																								
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	定期乗車券、回数券の支給を適切に実施し、今後も保護者の負担軽減を図り、円滑な就学につなげる。																																																																																																							
	解決すべき課題への方策	生徒の登下校に合わせた運行時刻や、他の乗客との兼ね合い等について、引き続き関係機関と調整を図っていく。																																																																																																							

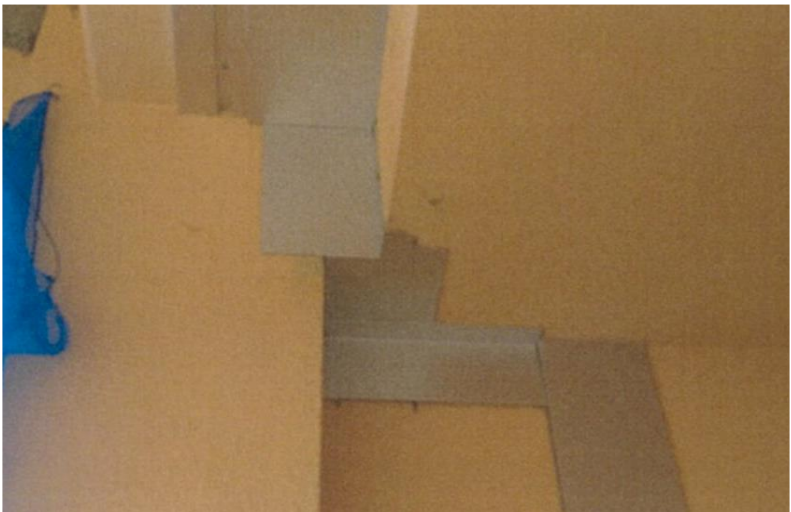
款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食費	会計名	一般会計
事業名		1-1	給食センター管理事業						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	会見給食センター、西伯給食センター						総合計画における位置づけ		
								⑧こどもが健やかに育つまちづくり		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)		
	意図 (対象をどうするか)	安定して給食を提供できるよう施設を維持管理し、安全な給食が供給出来ている。						根拠法令・要綱等		
								名称	学校給食基本法	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/329AC0000000160	
								名称	食育基本法	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	給食センターの調理環境を整えることにより、おいしく、かつ安全な給食を提供する。						URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/417AC1000000063/	
								名称	南部町立学校給食センター条例	
URL								https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000220.html		
決算増減の理由								執行率の理由		
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	非該当		非該当		
		77,256,114 円	73,998,096 円	△ 3,258,018 円	△ 4.2 %					
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減					
		78,131 千円	75,619 千円	△ 2,512 千円	△ 3.2 %					
		本年度執行率	97.9 %							
【事業内容】 ○業務委託(R7. 4月～3年間の契約) 委託の目的:給食を効率的かつ安全・安心・安定的に提供する。 委託先:株式会社メフォス(プロポーザル審査会にて選定) (H22年度から給食調理業務等を業者に委託し、H25年度、H28年度、H31年度、R4年度に再契約) 委託内容:調理業務、食材検収業務、施設・備品保守清掃管理業務、配送業務、洗浄業務 ○学校給食センター運営委員会の開催 運営委員10名(小中学校長2名、給食主任又は保健体育主事3名、小中学校PTA会長2名、学識経験者3名) 内容:R6年度実績報告、R7年度学校給食費一食単価等、R7年度事業計画 ○施設、設備の修繕や点検、新規購入 ○食物アレルギー等対応 ○食中毒、ノロウイルス対策 ○食育の推進 【決算の状況】 詳細は次頁 (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ○ 給食センター職員の定期的な検便が徹底できた。 ○ アレルギー体質の児童生徒の保護者に聞き取りを行い、アレルギー食材を除去・代替食等にて対応し、安全な給食を提供した。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ○ 調理環境を整え、常に安全な給食を提供するにあたり、修繕、買い替えの判断が困難であった。										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
21-1-6-1	給食センター管理事業債				6,100,000	200,000	7 報償費	13,500	8,100	
							10 需用費	8,005,411	13,888,129	
							11 役務費	657,315	634,746	
							12 委託料	64,054,000	56,846,800	
							13 使用料及び賃借料	0	865,821	
							17 備品購入費	4,525,888	1,754,500	
	一般財源				71,156,114	73,798,096				
	計				77,256,114	73,998,096	計	77,256,114	73,998,096	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		平成7年に改築され、30年が経過。経年劣化により施設及び部品の修繕が必要だが、部品が廃番の場合もあり、買い替えが必要となるケースも増加している。今後の児童生徒数の推移をふまえ、計画的に整備していく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		全児童・生徒に対し、安心安全な給食が提供できるよう、学校と連携しアレルギー面談を随時行う。							
	解決すべき課題への方策		給食センターの施設設備を計画的に整備するとともに、年々増加する突発的な修繕等に対応するための予算確保が必要。							

事業名	1-1	給食センター管理事業	所属名	総務・学校教育課																																																																
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 学校給食センター運営委員会を5月に開催し、出席者の承認を得た。 ○ 給食センター職員の定期的(月2回)な検便を行った。 ○ アレルギー体質の児童生徒30人に対し、アレルギー面談を行った。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ 修繕と買い替えの判断基準が曖昧であり、一時的な修繕を選択したものの、直後に再故障が発生した。																																																																				
(計画) (実績) 単位:円 <table><tr><th>細 節</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>内 容</th></tr><tr><td>報償費</td><td>17,000</td><td>8,100</td><td>学校給食センター運営委員2,700円×3人(令和7年5月8日開催)</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>2,271,000</td><td>2,264,927</td><td>年間購読料27,852円、食器類1,540,000円、消耗品233,079円 他(調理器具、等)463,996円</td></tr><tr><td>燃料費</td><td>1,831,000</td><td>1,667,011</td><td>ガス、灯油代(戸田商店、鳥取西部ジェイエイサービス)1,667,011円</td></tr><tr><td>印刷製本費</td><td>41,000</td><td>40,711</td><td>給食システム用帳票、封筒、過誤納金還付通知書200枚40,711円</td></tr><tr><td>光熱水費</td><td>8,619,500</td><td>7,957,056</td><td>水道・電気料金7,957,056円</td></tr><tr><td>施設修繕費</td><td>902,380</td><td>902,380</td><td>西伯給食センターエコキュート1号修繕165,000円、会見給食センター殺菌 灯交換110,000円、西伯給食センター給湯器設備修繕工事192,500円、他 (修繕、交換等)434,880円</td></tr><tr><td>備品修繕費</td><td>1,056,044</td><td>1,056,044</td><td>会見給食センター食器洗浄機ポンプ交換411,950円、西伯給センターフード スライサー等修繕136,301円、西伯給食センター冷凍庫修繕319,000円、他 (修理、交換等)188,793円</td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>192,000</td><td>170,714</td><td>電話料金99,104円、郵便後納料金71,610円</td></tr><tr><td>手数料</td><td>669,576</td><td>385,430</td><td>腸内細菌・ノロウイルス検査123,530円、エアコンフロン漏洩点検72,600円、 ファン点検121,000円、他(手数料)68,300円</td></tr><tr><td>火災保険料</td><td>79,000</td><td>78,602</td><td>建物災害共済継続委託分担金78,602円</td></tr><tr><td>保守点検委託料</td><td>470,000</td><td>469,600</td><td>電気設備保守点検320,000円、消防設備保守点検149,600円</td></tr><tr><td>その他委託料</td><td>56,378,000</td><td>56,377,200</td><td>メフォス委託料 月額4,698,100円×12月</td></tr><tr><td>使用料</td><td>1,338,000</td><td>865,821</td><td>下水道使用料865,821円</td></tr><tr><td>備品購入費</td><td>1,754,500</td><td>1,754,500</td><td>検食用冷凍庫(小中学校分5台)269,500円 西伯給食センター冷凍庫購入1,485,000円</td></tr><tr><td>計</td><td>75,619,000</td><td>73,998,096</td><td></td></tr></table>					細 節	予算額	決算額	内 容	報償費	17,000	8,100	学校給食センター運営委員2,700円×3人(令和7年5月8日開催)	消耗品費	2,271,000	2,264,927	年間購読料27,852円、食器類1,540,000円、消耗品233,079円 他(調理器具、等)463,996円	燃料費	1,831,000	1,667,011	ガス、灯油代(戸田商店、鳥取西部ジェイエイサービス)1,667,011円	印刷製本費	41,000	40,711	給食システム用帳票、封筒、過誤納金還付通知書200枚40,711円	光熱水費	8,619,500	7,957,056	水道・電気料金7,957,056円	施設修繕費	902,380	902,380	西伯給食センターエコキュート1号修繕165,000円、会見給食センター殺菌 灯交換110,000円、西伯給食センター給湯器設備修繕工事192,500円、他 (修繕、交換等)434,880円	備品修繕費	1,056,044	1,056,044	会見給食センター食器洗浄機ポンプ交換411,950円、西伯給センターフード スライサー等修繕136,301円、西伯給食センター冷凍庫修繕319,000円、他 (修理、交換等)188,793円	通信運搬費	192,000	170,714	電話料金99,104円、郵便後納料金71,610円	手数料	669,576	385,430	腸内細菌・ノロウイルス検査123,530円、エアコンフロン漏洩点検72,600円、 ファン点検121,000円、他(手数料)68,300円	火災保険料	79,000	78,602	建物災害共済継続委託分担金78,602円	保守点検委託料	470,000	469,600	電気設備保守点検320,000円、消防設備保守点検149,600円	その他委託料	56,378,000	56,377,200	メフォス委託料 月額4,698,100円×12月	使用料	1,338,000	865,821	下水道使用料865,821円	備品購入費	1,754,500	1,754,500	検食用冷凍庫(小中学校分5台)269,500円 西伯給食センター冷凍庫購入1,485,000円	計	75,619,000	73,998,096	
細 節	予算額	決算額	内 容																																																																	
報償費	17,000	8,100	学校給食センター運営委員2,700円×3人(令和7年5月8日開催)																																																																	
消耗品費	2,271,000	2,264,927	年間購読料27,852円、食器類1,540,000円、消耗品233,079円 他(調理器具、等)463,996円																																																																	
燃料費	1,831,000	1,667,011	ガス、灯油代(戸田商店、鳥取西部ジェイエイサービス)1,667,011円																																																																	
印刷製本費	41,000	40,711	給食システム用帳票、封筒、過誤納金還付通知書200枚40,711円																																																																	
光熱水費	8,619,500	7,957,056	水道・電気料金7,957,056円																																																																	
施設修繕費	902,380	902,380	西伯給食センターエコキュート1号修繕165,000円、会見給食センター殺菌 灯交換110,000円、西伯給食センター給湯器設備修繕工事192,500円、他 (修繕、交換等)434,880円																																																																	
備品修繕費	1,056,044	1,056,044	会見給食センター食器洗浄機ポンプ交換411,950円、西伯給センターフード スライサー等修繕136,301円、西伯給食センター冷凍庫修繕319,000円、他 (修理、交換等)188,793円																																																																	
通信運搬費	192,000	170,714	電話料金99,104円、郵便後納料金71,610円																																																																	
手数料	669,576	385,430	腸内細菌・ノロウイルス検査123,530円、エアコンフロン漏洩点検72,600円、 ファン点検121,000円、他(手数料)68,300円																																																																	
火災保険料	79,000	78,602	建物災害共済継続委託分担金78,602円																																																																	
保守点検委託料	470,000	469,600	電気設備保守点検320,000円、消防設備保守点検149,600円																																																																	
その他委託料	56,378,000	56,377,200	メフォス委託料 月額4,698,100円×12月																																																																	
使用料	1,338,000	865,821	下水道使用料865,821円																																																																	
備品購入費	1,754,500	1,754,500	検食用冷凍庫(小中学校分5台)269,500円 西伯給食センター冷凍庫購入1,485,000円																																																																	
計	75,619,000	73,998,096																																																																		

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食費	会計名	一般会計				
事業名		1-2	給食材料購入事業						所属名	総務・学校教育課				
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒、教職員、給食センター職員							総合計画における位置づけ					
									⑧こどもが健やかに育つまちづくり					
									「4つの挑戦」から見た位置づけ					
									②教育に挑戦(子育て・教育のまち)					
	意図 (対象をどうするか)	児童生徒の健全な食習慣や適切な栄養摂取による健康増進をはかり、学校生活での明るい社交性・協同の精神を育ている。							根拠法令・要綱等					
									名称	学校給食法				
									URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/329AC0000000160				
									名称	南部町立学校給食センター条例				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	安全・安心かつ栄養バランスのとれた給食を提供し、県内産・町内産食材を多く取り入れながら食材費を抑え、児童生徒の健康な身体づくりを目指す。							URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000220.html				
									名称	南部町学校給食費徴収条例				
URL									https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000222.html					
決算増減の理由									執行率の理由					
前年度比較		前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		本年度執行率	93.2 %			
		54,811,515 円		56,250,340 円		1,438,825 円		2.6 %						
		前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減						
		56,595 千円		60,372 千円		3,777 千円		6.7 %						
【事業内容】														
○ 給食用食材を購入する。														
○ 保護者の経済的な負担の軽減を目的として、学校給食費の一部又は全額を補助する。														
【決算の状況】														
(計画)														
①給食実施人数(R7.5.1時点)														
		児童生徒数			教職員・給食センター職員数									
小学校		453人			74人									
中学校		266人			53人									
給食センター		-			25人									
② 給食材料費内訳														
小学校(教職員・保存食を含む)					34,637,704 円									
中学校(教職員・保存食を含む)					23,409,000 円									
給食センター(職員・保存食を含む)					1,702,800 円									
試食等					256,050 円									
合 計					60,005,554 円									
③ 救給カレー														
150g		12,578円× 5箱＝			62,890 円									
250g		12,139円× 25箱＝			303,475 円									
合計					366,365 円									
(歳入内訳 単位:円)														
(歳出内訳 単位:円)														
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額		本年度決算額		節		前年度決算額		本年度決算額	
12-2-5-1		学校給食費負担金			41,511,683		32,305,829		10 需用費		54,811,515		56,250,340	
14-2-1-1		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金			0		8,010,978							
		一般財源			13,299,832		15,933,533							
		計			54,811,515		56,250,340		計		54,811,515		56,250,340	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		町内産、県内産、国内産の食材を多く取り入れながら、栄養バランスのとれた豊かな給食を提供することにより、児童生徒の健康の保持増進を図り、「食」に関する指導の充実を図る。											
	②次年度へ向けた次への行動・具体策													
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		計画的・安定的に地元食材の利用ができるよう地元の食材提供者と連携・調整を行い、給食献立を工夫する等、町内産や県内産、国内産食材の利用促進に向けた取組を進める。											
	解決すべき課題への方策		地元の食材生産者が年々減っているため、産業課と連携して対策を検討する。又、地元の食材提供者と活発に情報交流を行い、利用できる食材を増やす等の工夫を図る。											

事業名	1-2	給食材料購入事業	所属名	総務・学校教育課																								
(1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ○ 米を中心とする各種食材が高騰したが一食あたりの給食費は変更せず小学校344円、中学校405円を維持し、保護者負担額についても小学校253円、中学校302円を維持した。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ○ 高齢化等に伴う町内生産者の減少により市場からの買入が増加し、地産地消が年々 厳しさを増している。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 給食実施回数(各校児童生徒の平均食数) <table><tr><td>小学校</td><td>中学校</td></tr><tr><td>185回</td><td>174回</td></tr></table> ○ 学校給食費保護者負担軽減額 19,680,995円 (内、3番目以降全額町補助の人数・金額41人(小学生:39人、中学生:2人)・2,614,500円) ○ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による財源措置に伴い、1月から3月の児童生徒の給食費を無償化にし保護者負担分(8,010,978円)の補助を行った。 ○徴収実績 <table><tr><th colspan="2">現年度分(南部中学校区)</th><th colspan="2">現年度分(法勝寺中学校区)</th></tr><tr><td>調定額</td><td>13,067,382円</td><td>調定額</td><td>19,468,844円</td></tr><tr><td>収入済額</td><td>12,984,386円</td><td>収入済額</td><td>19,321,443円</td></tr><tr><td>徴収額</td><td>99.36%</td><td>徴収率</td><td>99.24%</td></tr><tr><td>収入未済額</td><td>82,996円</td><td>収入未済額</td><td>147,401円</td></tr></table> ○ 給食用食材納入業者17者中、町内事業者は10者で精白米、野菜、果実(柿、梨、等)、味噌、猪肉、豆腐、おかから、いちじくジャムを主に調達している。 ○ 町内産食材を活用し、特色ある給食を提供した。又、地元生産者との交流を行った。 ○ 1月6日に発生した地震に伴い、会見小学校、会見第二小学校、及び南部中学校の全児童生徒、教職員を対象に、1月8日と1月9日の2日間、救給カレーを提供した。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ 町内の生産者が高齢化等により減少し、町内産食材の納入量が減少したことにより、市場からの買入が増加し食材費が高騰。米価の高止まりも一食単価上昇に多大な影響を与えている。					小学校	中学校	185回	174回	現年度分(南部中学校区)		現年度分(法勝寺中学校区)		調定額	13,067,382円	調定額	19,468,844円	収入済額	12,984,386円	収入済額	19,321,443円	徴収額	99.36%	徴収率	99.24%	収入未済額	82,996円	収入未済額	147,401円
小学校	中学校																											
185回	174回																											
現年度分(南部中学校区)		現年度分(法勝寺中学校区)																										
調定額	13,067,382円	調定額	19,468,844円																									
収入済額	12,984,386円	収入済額	19,321,443円																									
徴収額	99.36%	徴収率	99.24%																									
収入未済額	82,996円	収入未済額	147,401円																									

款	10	災害復旧費	項	6	文教施設災害復旧費	目	1	公立学校施設災害復旧費	会計名	一般会計																																																																															
事業名		1	小学校災害復旧事業						所属名	総務・学校教育課																																																																															
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	会見小学校						総合計画における位置づけ																																																																																	
								⑧こどもが健やかに育つまちづくり																																																																																	
								「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																	
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																																																																	
								根拠法令・要綱等																																																																																	
	意図 (対象をどうするか)	学校施設の管理など学習環境を整えることによって、児童が健全で安全に学ぶことができるようになっている。						名称	公立学校施設災害復旧費国庫負担法施行令																																																																																
								URL	https://elaws.jp/view/328CO0000000373																																																																																
								名称																																																																																	
								URL																																																																																	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	児童の安心安全な学校生活が確保され、地域や保護者から信頼され、期待される学校づくりを展開できる。						名称																																																																																	
URL																																																																																									
決算増減の理由								執行率の理由																																																																																	
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	新規事業のため		非該当																																																																																	
		0 円	440,000 円	440,000 円	皆 増 %																																																																																				
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																																																																																				
		0 千円	440 千円	440 千円	皆 増 %																																																																																				
		本年度執行率	100.0 %																																																																																						
【事業内容】 ○1月6日に発生した地震の影響により、小学校の建物に被害があったため、修繕対応を行う。 【決算の状況】 (計画) (実績) 単位:円 <table><tr><td>細 節</td><td>予算額</td><td>決算額</td><td>内 容</td></tr><tr><td>施設修繕料</td><td>440,000</td><td>440,000</td><td>会見小学校渡り廊下ジョイント部分修繕440,000円</td></tr><tr><td>計</td><td>440,000</td><td>440,000</td><td></td></tr></table> (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ○ 会見小学校の地震被害に伴う修繕を年度内に完了し、安全な学校生活を確保することができた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ○ 地震での被害なのか判断できない箇所もあるため、修繕に至らなかった箇所がある。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 児童の学校生活に支障がないよう安全に配慮し、工事を行った。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ 地震での被害なのか判断がつかない箇所があったため、日常点検から施設を把握しておく必要がある。 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>21-1-7-3</td><td>公立学校施設補助災害復旧事業債</td><td>0</td><td>100,000</td><td>10 需用費</td><td>0</td><td>440,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>0</td><td>340,000</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>0</td><td>440,000</td><td>計</td><td>0</td><td>440,000</td></tr></table> 今後に向けて ①今後の事業全体の方向性とその内容 災害被害に伴う修繕を行うことで、安全な学校生活を確保する。 ②次年度へ向けた次への行動・具体策 <table><tr><td>達成出来た点をさらに伸ばす方策</td><td>災害に備え、日常点検を引き続き行う。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td>日常点検において、施設の老朽箇所等を把握し修繕を計画的に行っていく。</td></tr></table>											細 節	予算額	決算額	内 容	施設修繕料	440,000	440,000	会見小学校渡り廊下ジョイント部分修繕440,000円	計	440,000	440,000		款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	21-1-7-3	公立学校施設補助災害復旧事業債	0	100,000	10 需用費	0	440,000																																					一般財源	0	340,000					計	0	440,000	計	0	440,000	達成出来た点をさらに伸ばす方策	災害に備え、日常点検を引き続き行う。	解決すべき課題への方策	日常点検において、施設の老朽箇所等を把握し修繕を計画的に行っていく。
細 節	予算額	決算額	内 容																																																																																						
施設修繕料	440,000	440,000	会見小学校渡り廊下ジョイント部分修繕440,000円																																																																																						
計	440,000	440,000																																																																																							
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																			
21-1-7-3	公立学校施設補助災害復旧事業債	0	100,000	10 需用費	0	440,000																																																																																			
	一般財源	0	340,000																																																																																						
	計	0	440,000	計	0	440,000																																																																																			
達成出来た点をさらに伸ばす方策	災害に備え、日常点検を引き続き行う。																																																																																								
解決すべき課題への方策	日常点検において、施設の老朽箇所等を把握し修繕を計画的に行っていく。																																																																																								

事業名	1	小学校災害復旧事業	所属名	総務・学校教育課
【着工前】    【完成】   				

款	10	災害復旧費	項	6	文教施設災害復旧費	目	1	公立学校施設災害復旧費	会計名	一般会計				
事業名		2	中学校災害復旧事業						所属名	総務・学校教育課				
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	法勝寺中学校、南部中学校						総合計画における位置づけ						
								⑧こどもが健やかに育つまちづくり						
								「4つの挑戦」から見た位置づけ						
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)						
	意図 (対象をどうするか)	学校施設の管理など学習環境を整えることによって、生徒が健全で安全に学ぶことができるようになっている。						根拠法令・要綱等						
								名称	公立学校施設災害復旧費国庫負担法施行令					
								URL	https://elaws.jp/view/328CO0000000373					
								名称						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	生徒の安心安全な学校生活が確保され、地域や保護者から信頼され、期待される学校づくりを展開できる。						URL						
								名称						
URL														
決算増減の理由								執行率の理由						
前年度比較		前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		本年度執行率	100.0 %			
		0 円		3,243,900 円		3,243,900 円		皆 増 %						
		前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減						
		0 千円		3,244 千円		3,244 千円		皆 増 %						
【事業内容】														
1月6日に発生した地震の影響により、中学校の建物に被害があったため、修繕対応を行う。														
【決算の状況】														
(計画) (実績) 単位:円														
細 節		予算額		決算額		内 容								
施設修繕料		3,244,000		3,243,900		法勝寺中学校修繕(石碑のズレ、天井破損、廊下段差)908,600円、南部中学校体育館修繕(クラック、爆裂、浮き)2,335,300円								
計		3,244,000		3,243,900										
(実績)														
(1)成果上の実績														
①達成出来たこと(成果実績)とその理由														
法勝寺中学校及び南部中学校の地震被害に伴う修繕を年度内に完了し、安全な学校生活を確保することができた。														
②達成出来なかったこと(問題)とその理由														
地震での被害なのか判断できない箇所もあるため、修繕に至らなかった箇所がある。														
(2)活動上の実績														
①実施出来たこと(活動実績)とその理由														
生徒の学校生活に支障がないよう安全に配慮し、工事を行った。														
②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由														
地震での被害なのか判断がつかない箇所があったため、日常点検から施設を把握しておく必要がある。														
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)														
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額		本年度決算額		節		前年度決算額		本年度決算額	
21-1-7-3		公立学校施設補助災害復旧事業債			0		1,300,000		10 需用費		0		3,243,900	
		一般財源			0		1,943,900							
		計			0		3,243,900		計		0		3,243,900	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		災害被害に伴う修繕を行うことで、安全な学校生活を確保する。											
	②次年度へ向けた次への行動・具体策													
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		災害に備え、日常点検を引き続き行う。											
	解決すべき課題への方策		日常点検において、施設の老朽箇所等を把握し修繕を計画的に行っていく。											

事業名	2 中学校災害復旧事業	所属名	総務・学校教育課
【着工前】 ○法勝寺中学校   		【完成】   	
○南部中学校  		 	